
羽生市
市民意識調査報告書

— 概要版 —

令和8年3月
羽生市

目 次

I. 調査の概要	1
調査の概要	3
II. 回答者属性	5
回答者属性	7
III. 調査結果	9
1. 羽生市の住み心地について	11
2. 市からの情報について	14
3. 市の取り組みについて	17
4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について	18
5. 医療・防災・防犯について	21
6. 市議会について	30
7. 選挙について	32
8. 文化・スポーツについて	33
9. 人権・男女平等について	39
10. 商業・農産業について	41
IV. 調査結果のまとめ	43

I. 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

本調査は、市政に対する市民の意見や要望などを幅広く把握し、市民の声を市政に反映するとともに、過去の市民意識調査との比較により、市民ニーズや市民の考え方の動向などを把握し、これからのまちづくりを行ううえでの基礎資料とするために実施しました。また、第7次羽生市総合振興計画を策定する際の資料としても活用します。

2 調査の方法

調査対象：市内に在住する18歳以上の市民

標本数：2,500人

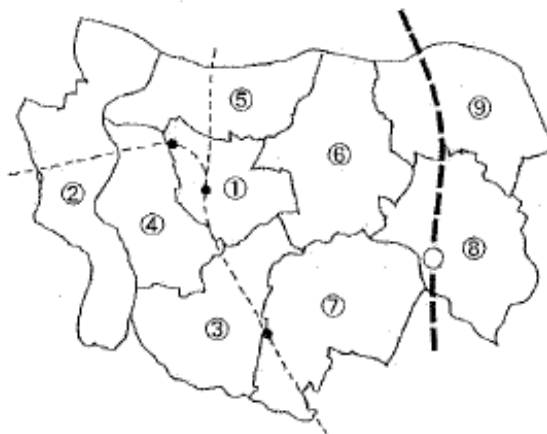
抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出

調査方法：郵送による配布、郵送またはインターネットによる回答

調査期間：令和7年10月3日（金）～令和7年10月31日（金）

3 集計・分析のための地区区分

- ①羽生地区
- ②新郷地区
- ③須影地区
- ④岩瀬地区
- ⑤川俣地区
- ⑥井泉地区
- ⑦手子林地区
- ⑧三田ヶ谷地区
- ⑨村君地区



4 回収結果

	配布数	回収数	回収率
市民意識調査	2,500人	1,525人	61.0%
		(郵送：910人)	(郵送：36.4%)
		(インターネット回答：615人)	(インターネット回答：24.6%)

5 調査項目

①羽生市の住み心地について	問1：住み心地/理由 問2：定住意向 問3：住み続けるにあたって重要なもの
②市からの情報について	問4：市からの情報の入手先 問5：広報はにゅうの閲読 問6：ぎかいだよりの閲読 問7：自宅以外で手に取りやすいと思う場所 問8：羽生市まちづくり自治基本条例の認知度
③市の取り組みについて	問9：全国PRに有効なもの 問10：パソコンやスマートフォンの推進 問11：DXが進むことへの期待
④コミュニティ・福祉・ごみ・交通について	問12：行事への参加 問13：生きがいのある老後 問14：子育て支援に期待すること 問15：家庭ごみ削減に必要なこと 問16：公共交通
⑤医療・防災・防犯について	問17：かかりつけ医 問18：かかりつけ歯科医 問19：かかりつけ薬局 問20：健康診断/理由 問21：家屋の耐震状況 問22：火災警報器 問23：避難所の認知度 問24：ハザードマップの認知度 問25：マイ・タイムラインの作成状況 問26：災害時の備え 問27：防犯対策 問28：犯罪防止策
⑥市議会について	問29：市議会への関心/理由
⑦選挙について	問30：政治や選挙への関心 問31：投票しやすい環境 問32：選挙に関する情報の取得先
⑧文化・スポーツについて	問33：おうち図書館の有無/理由 問34：文化芸術に期待するもの 問35：文化芸術の情報の入手先 問36：文化芸術振興の施策 問37：子どもたちが文化芸術に親しむための取り組み 問38：スポーツをする頻度/理由
⑨人権・男女平等について	問39：基本的人権の尊重 問40：各場面の男女平等 問41：『男は仕事 女は家庭』の考え方
⑩商業・農産業について	問42：農産物の購入目安 問43：農業・商業・産業の振興
⑪ご自身について	(1)性別 (2)年齢 (3)職業 (4)居住年数 (5)居住地域
⑫市政に関するご意見	自由記入

6 報告書を見る際の注意

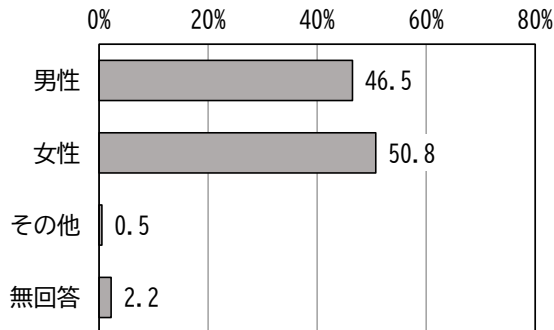
- ・設問の比率は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数（図表中の「n」）として、百分率（%）で表しています。したがって、非該当者数は、比率に含まれません。
- ・回答合計の表記を単一（1つに○）回答は「合計」、複数（いくつでも○）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。
- ・回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。

II. 回答者属性

回答者属性

(1) 性別

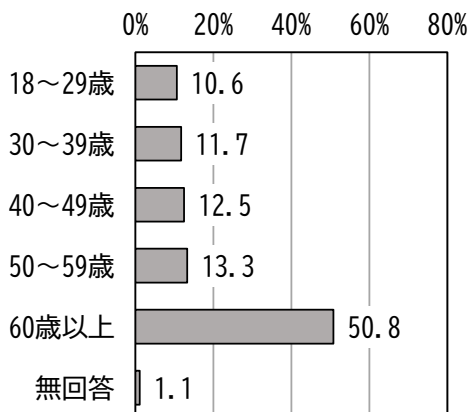
回答者の性別は、「男性」が46.5%、「女性」が50.8%、「その他」が0.5%となっています。



項目	n	%
男性	709	46.5%
女性	774	50.8%
その他	8	0.5%
無回答	34	2.2%
合計	1,525	100.0%

(2) 年齢 (令和7年10月1日現在)

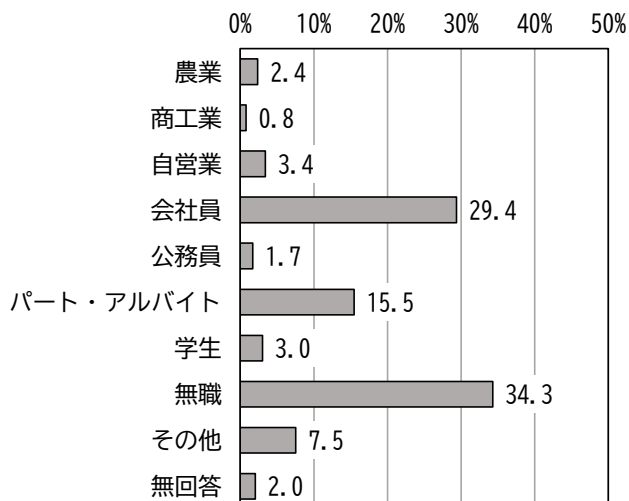
回答者の年齢は、「60歳以上」が50.8%と最も多く、次いで、「50～59歳」が13.3%、「40～49歳」が12.5%となっています。



項目	n	%
18～29歳	161	10.6%
30～39歳	179	11.7%
40～49歳	191	12.5%
50～59歳	203	13.3%
60歳以上	775	50.8%
無回答	16	1.1%
合計	1,525	100.0%

(3) 職業

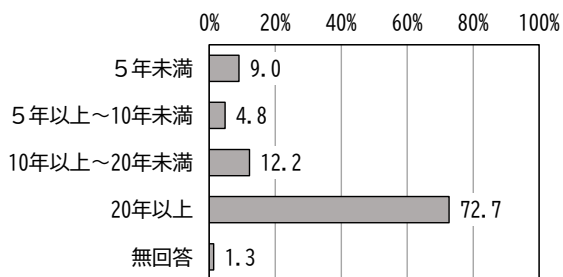
回答者の職業は、「無職」が34.3%と最も多く、次いで、「会社員」が29.4%、「パート・アルバイト」が15.5%となっています。



項目	n	%
農業	36	2.4%
商工業	12	0.8%
自営業	52	3.4%
会社員	448	29.4%
公務員	26	1.7%
パート・アルバイト	236	15.5%
学生	46	3.0%
無職	523	34.3%
その他	115	7.5%
無回答	31	2.0%
合計	1,525	100.0%

(4) 羽生市に住んでいる年数

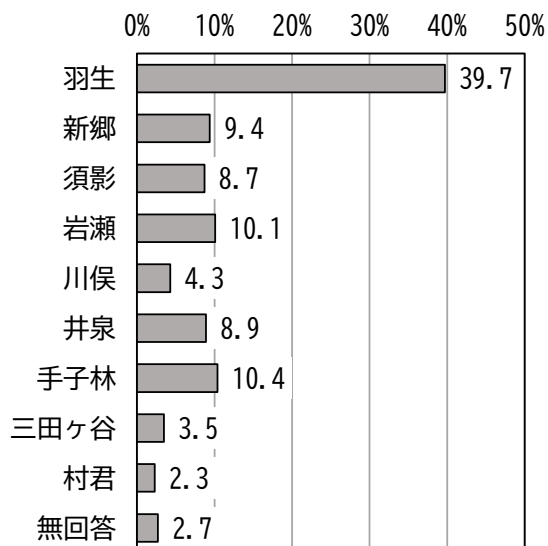
回答者の居住年数は、「20年以上」が72.7%と最も多く、次いで、「10年以上～20年未満」が12.2%、「5年未満」が9.0%となっています。



項目	n	%
5年未満	137	9.0%
5年以上～10年未満	73	4.8%
10年以上～20年未満	186	12.2%
20年以上	1,108	72.7%
無回答	21	1.3%
合計	1,525	100.0%

(5) 住んでいる地域

回答者の居住地区は、「羽生」が39.7%と最も多く、次いで、「手子林」が10.4%、「岩瀬」が10.1%となっています。



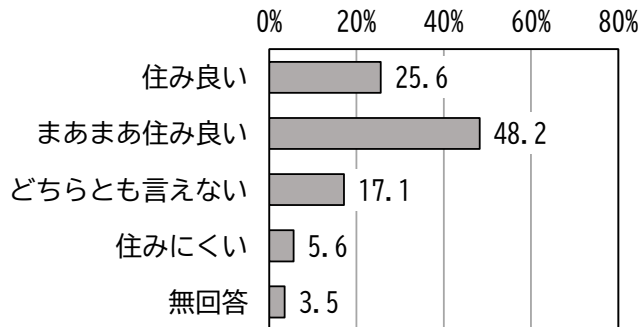
項目	n	%
羽生	606	39.7%
新郷	143	9.4%
須影	132	8.7%
岩瀬	154	10.1%
川俣	66	4.3%
井泉	136	8.9%
手子林	158	10.4%
三田ヶ谷	53	3.5%
村君	35	2.3%
無回答	42	2.7%
合計	1,525	100.0%

Ⅲ. 調査結果

1. 羽生市の住み心地について

問1 羽生市の住み心地はいかがですか。【1つに○】

市の住み心地については、「住み良い(25.6%)」、「まあまあ住み良い(48.2%)」を合わせた『住み良い(計)』が73.8%に対し、「住みにくい」が5.6%となっています。
また、「どちらとも言えない」が17.1%となっています。

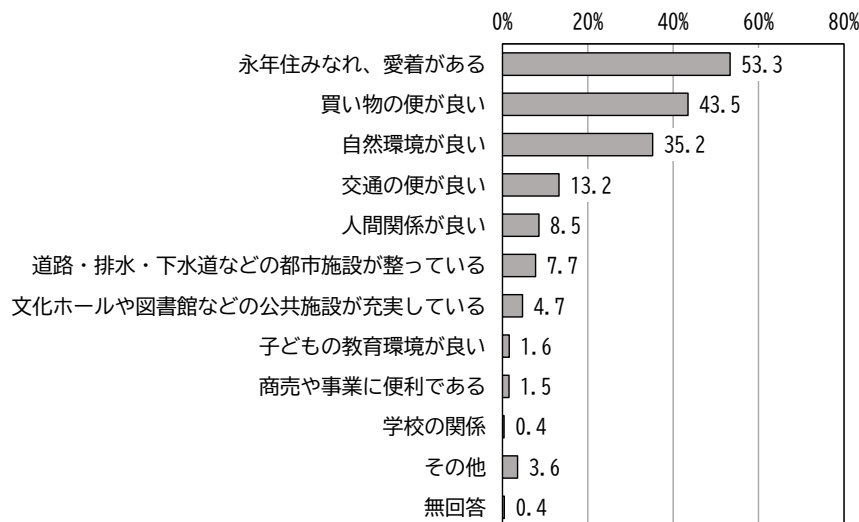


項目	n	%
住み良い	390	25.6%
まあまあ住み良い	735	48.2%
どちらとも言えない	261	17.1%
住みにくい	85	5.6%
無回答	54	3.5%
合計	1,525	100.0%

問1で「住み良い」、「まあまあ住み良い」のいずれかを選択した方のみ回答

問1-a 住み良い理由は何ですか。【2つまで○】

住み良い理由については、「永年住みなれ、愛着がある」が53.3%と最も多く、次いで、「買い物の便が良い」が43.5%、「自然環境が良い」が35.2%となっています。

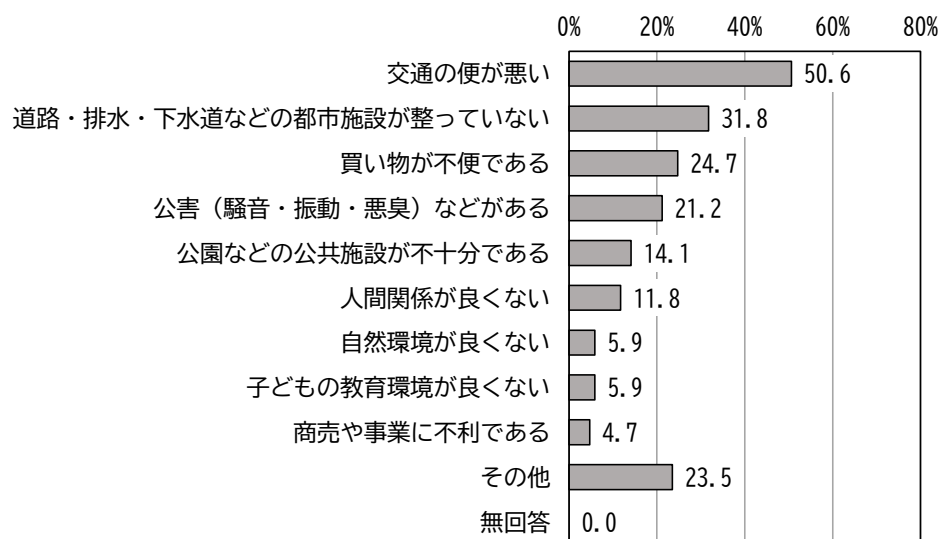


項目	n	%
永年住みなれ、愛着がある	600	53.3%
買い物の便が良い	489	43.5%
自然環境が良い	396	35.2%
交通の便が良い	149	13.2%
人間関係が良い	96	8.5%
道路・排水・下水道などの都市施設が整っている	87	7.7%
文化ホールや図書館などの公共施設が充実している	53	4.7%
子どもの教育環境が良い	18	1.6%
商売や事業に便利である	17	1.5%
学校の関係	4	0.4%
その他	40	3.6%
無回答	5	0.4%
回答者数	1,125	
非該当	400	
合計	1,525	

問1で「住みにくい」を選択した方のみ回答

問1ーb 住みにくい理由は何ですか。【2つまで○】

住みにくい理由については、「交通の便が悪い」が50.6%と最も多く、次いで、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」が31.8%、「買い物が不便である」が24.7%となっています。

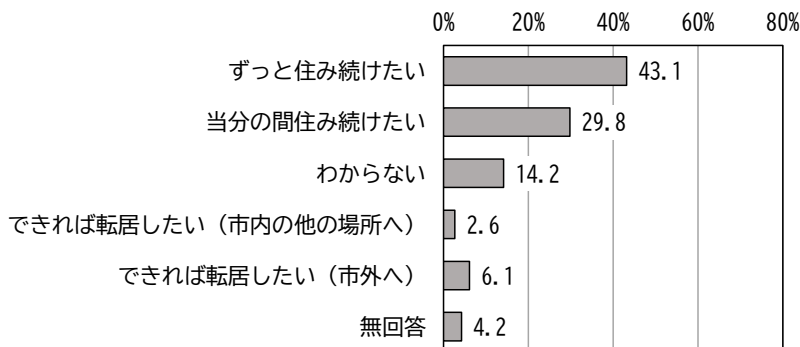


項目	n	%
交通の便が悪い	43	50.6%
道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない	27	31.8%
買い物が不便である	21	24.7%
公害（騒音・振動・悪臭）などがある	18	21.2%
公園などの公共施設が不十分である	12	14.1%
人間関係が良くない	10	11.8%
自然環境が良くない	5	5.9%
子どもの教育環境が良くない	5	5.9%
商売や事業に不利である	4	4.7%
その他	20	23.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	85	
非該当	1,440	
合計	1,525	

問2 現在の場所に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

定住意向については、「ずっと住み続けたい(43.1%)」、「当分の間住み続けたい(29.8%)」を合わせた『住み続けたい(計)』が72.9%に対し、「できれば転居したい(市内の他の場所へ)(2.6%)」、「できれば転居したい(市外へ)(6.1%)」を合わせた『できれば転居したい(計)』が8.7%となっています。

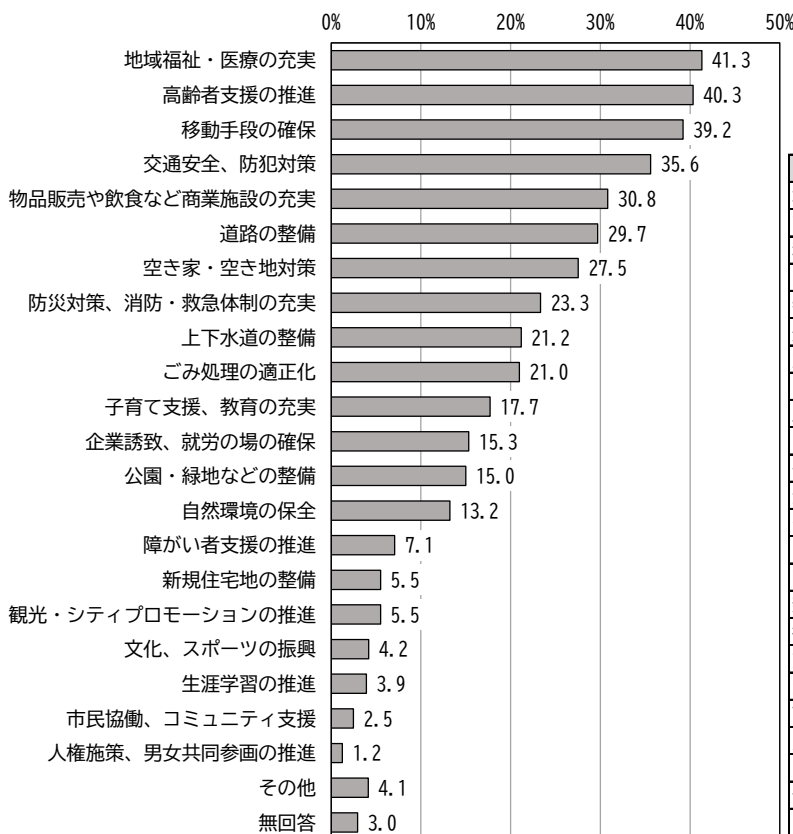
また、「わからない」が14.2%となっています。



項目	n	%
ずっと住み続けたい	658	43.1%
当分の間住み続けたい	454	29.8%
わからない	216	14.2%
できれば転居したい(市内の他の場所へ)	40	2.6%
できれば転居したい(市外へ)	93	6.1%
無回答	64	4.2%
合計	1,525	100.0%

問3 今後、住み続けるにあたって重要なものは、何ですか。【5つまで○】

今後、住み続けるにあたって重要なものについては、「地域福祉・医療の充実」が41.3%と最も多く、次いで、「高齢者支援の推進」が40.3%、「移動手段の確保」が39.2%となっています。

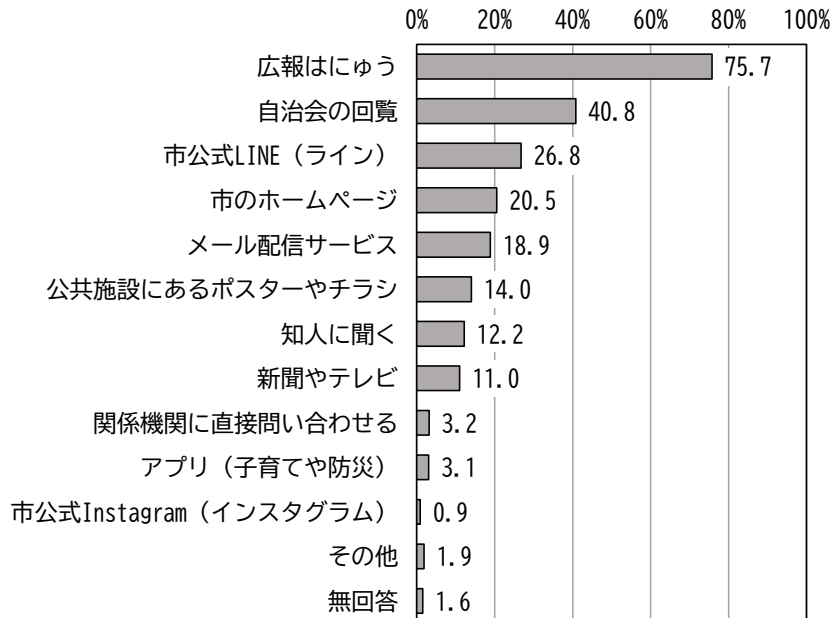


項目	n	%
地域福祉・医療の充実	630	41.3%
高齢者支援の推進	615	40.3%
移動手段の確保	598	39.2%
交通安全、防犯対策	543	35.6%
物品販売や飲食など商業施設の充実	470	30.8%
道路の整備	453	29.7%
空き家・空き地対策	420	27.5%
防災対策、消防・救急体制の充実	356	23.3%
上下水道の整備	323	21.2%
ごみ処理の適正化	320	21.0%
子育て支援、教育の充実	270	17.7%
企業誘致、就労場の確保	234	15.3%
公園・緑地などの整備	229	15.0%
自然環境の保全	202	13.2%
障がい者支援の推進	108	7.1%
新規住宅地の整備	84	5.5%
観光・シティプロモーションの推進	84	5.5%
文化、スポーツの振興	64	4.2%
生涯学習の推進	60	3.9%
市民協働、コミュニティ支援	38	2.5%
人権施策、男女共同参画の推進	19	1.2%
その他	63	4.1%
無回答	45	3.0%
回答者数	1,525	

2. 市からの情報について

問4 市からの情報をどのように得ていますか。【いくつでも○】

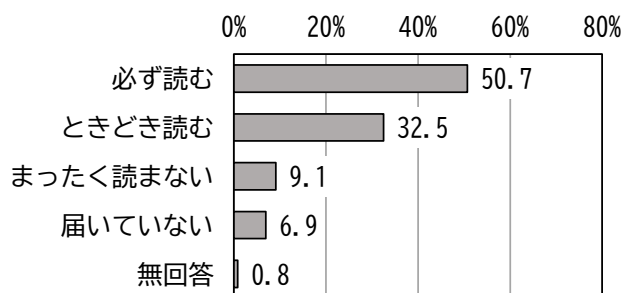
市からの情報の入手先については、「広報はにゅう」が75.7%と最も多く、次いで、「自治会の回覧」が40.8%、「市公式LINE（ライン）」が26.8%となっています。



項目	n	%
広報はにゅう	1,155	75.7%
自治会の回覧	622	40.8%
市公式LINE（ライン）	408	26.8%
市のホームページ	313	20.5%
メール配信サービス	288	18.9%
公共施設にあるポスターやチラシ	214	14.0%
知人に聞く	186	12.2%
新聞やテレビ	168	11.0%
関係機関に直接問い合わせる	49	3.2%
アプリ（子育てや防災）	47	3.1%
市公式Instagram（インスタグラム）	14	0.9%
その他	29	1.9%
無回答	24	1.6%
回答者数	1,525	

問5 市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つに○】

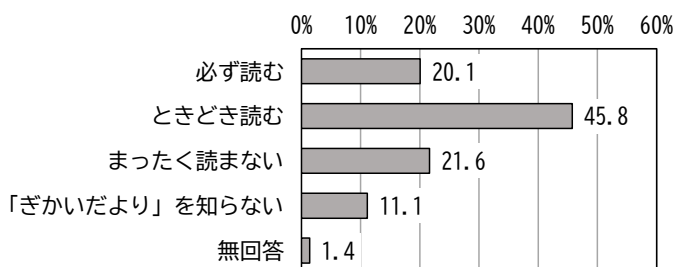
「広報はにゅう」の閲読については、「必ず読む(50.7%)」、「ときどき読む(32.5%)」を合わせた『読む(計)』が83.2%に対し、「まったく読まない」が9.1%となっています。
また、「届いていない」が6.9%となっています。



項目	n	%
必ず読む	773	50.7%
ときどき読む	495	32.5%
まったく読まない	139	9.1%
届いていない	105	6.9%
無回答	13	0.8%
合計	1,525	100.0%

問6 市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つに○】

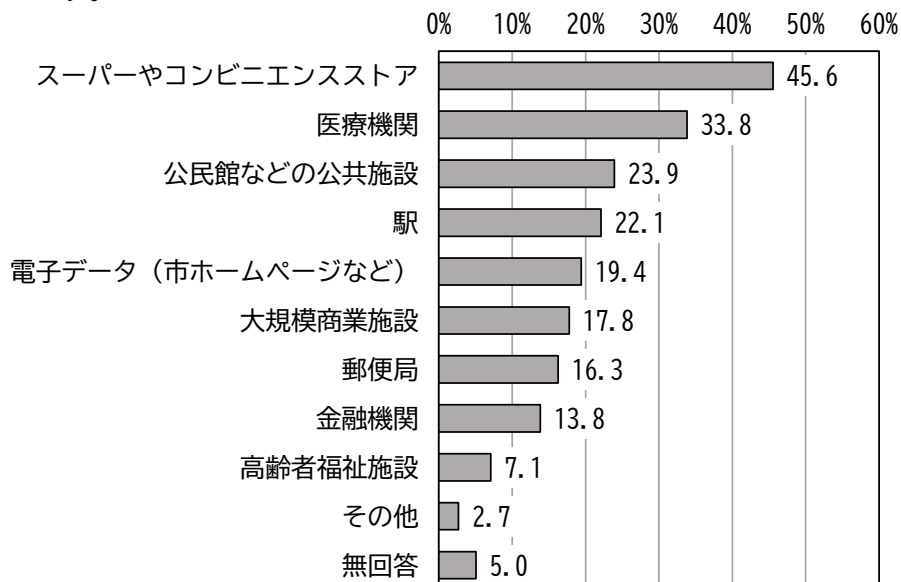
「ぎかいだより」の閲読については、「必ず読む(20.1%)」、「ときどき読む(45.8%)」を合わせた『読む(計)』が65.9%に対し、「まったく読まない」が21.6%となっています。
また、『「ぎかいだより」を知らない』が11.1%となっています。



項目	n	%
必ず読む	306	20.1%
ときどき読む	698	45.8%
まったく読まない	330	21.6%
「ぎかいだより」を知らない	170	11.1%
無回答	21	1.4%
合計	1,525	100.0%

問7 現在「広報はにゅう」「ぎかいだより」は自治会を通して各世帯へ配布しているほか、公共施設、駅、郵便局などに配架しています。自宅以外にどのような場所なら手に取りやすいと思いますか。【いくつでも○】

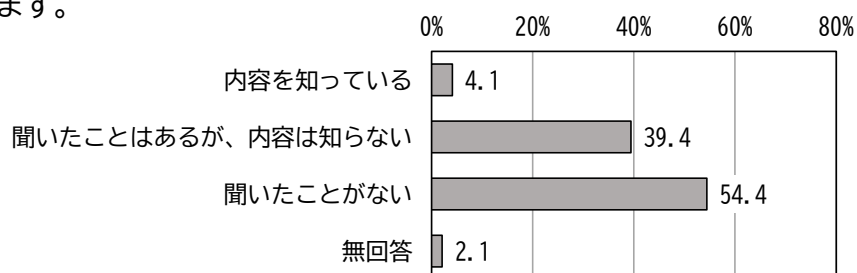
広報紙を自宅以外で手に取りやすいと思う場所については、「スーパーやコンビニエンスストア」が45.6%と最も多く、次いで、「医療機関」が33.8%、「公民館などの公共施設」が23.9%となっています。



項目	n	%
スーパーやコンビニエンスストア	695	45.6%
医療機関	516	33.8%
公民館などの公共施設	365	23.9%
駅	337	22.1%
電子データ（市ホームページなど）	296	19.4%
大規模商業施設	271	17.8%
郵便局	248	16.3%
金融機関	211	13.8%
高齢者福祉施設	108	7.1%
その他	41	2.7%
無回答	77	5.0%
回答者数	1,525	

問8 羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つに○】

羽生市まちづくり自治基本条例の認知度については、「聞いたことがない」が54.4%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が39.4%、「内容を知っている」が4.1%となっています。

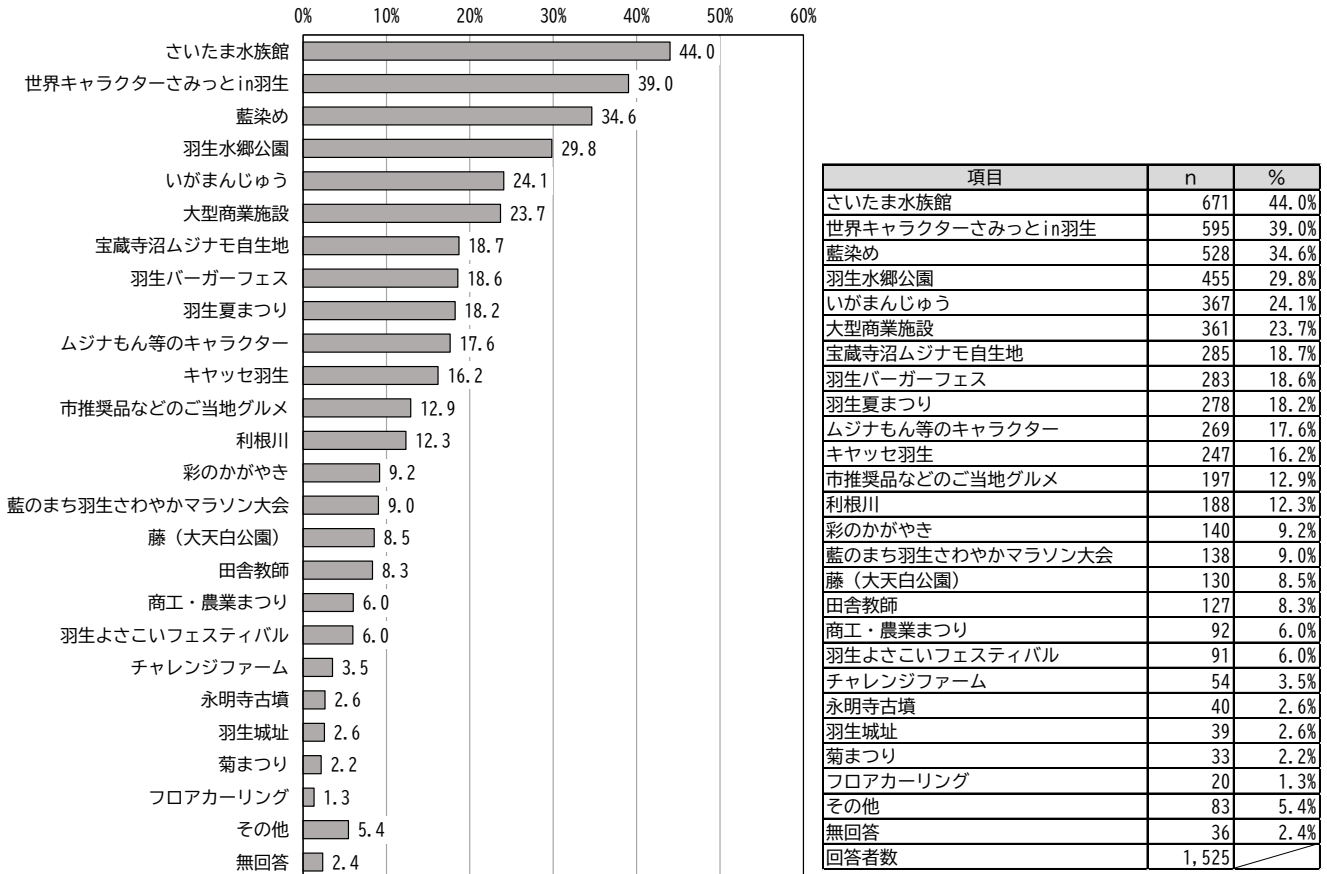


項目	n	%
内容を知っている	63	4.1%
聞いたことはあるが、内容は知らない	601	39.4%
聞いたことがない	830	54.4%
無回答	31	2.1%
合計	1,525	100.0%

3. 市の取り組みについて

問9 羽生市は、観光交流人口100万人を目指しています。次の地場産品、施設、イベントの中で、羽生市を全国にPRするために、有効だと思われるのはどれですか。【5つまで○】

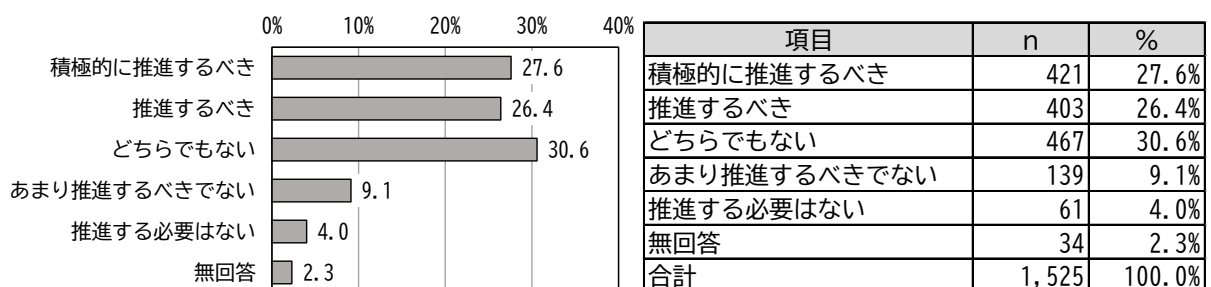
羽生市を全国にPRするため有効だと思われるものについては、「さいたま水族館」が44.0%と最も多く、次いで、「世界キャラクターさみっとin羽生」が39.0%、「藍染め」が34.6%となっています。



問10 各種申請や補助金交付の手続き等をオンライン化するなど、行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思いますか。【1つに○】

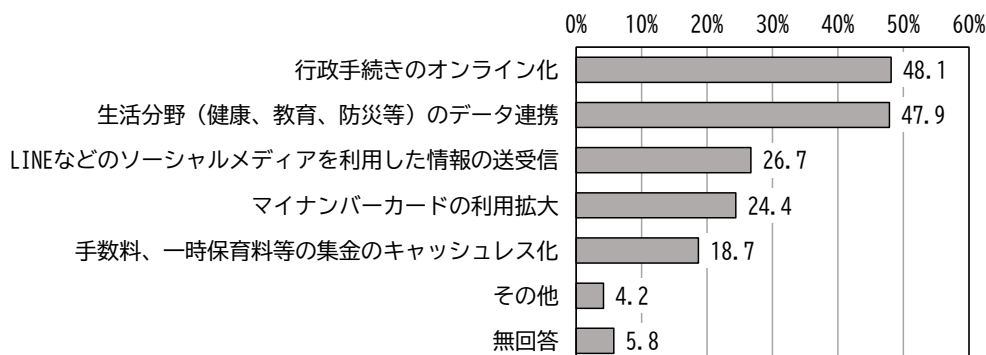
行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思うかについては、「積極的に推進するべき(27.6%)」、「推進するべき(26.4%)」を合わせた『推進するべき(計)』が54.0%に対し、「あまり推進するべきでない(9.1%)」、「推進する必要はない(4.0%)」を合わせた『推進する必要はない(計)』が13.1%となっています。

また、「どちらでもない」が30.6%となっています。



問11 DX（デジタル技術を活用して行政サービスの維持と向上を目指す取組）が進むことに対してどのようなことを期待しますか。【いくつでも○】

DXが進むことに対して期待することについては、「行政手続きのオンライン化」が48.1%と最も多く、次いで、「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」が47.9%、「LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信」が26.7%となっています。

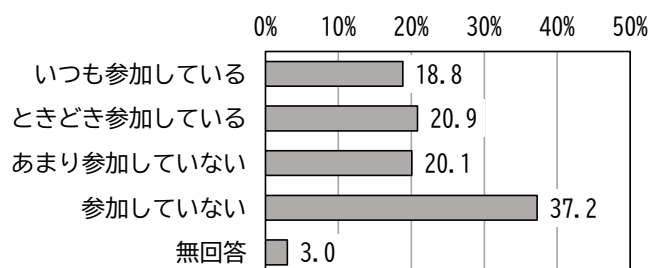


項目	n	%
行政手続きのオンライン化	734	48.1%
生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携	730	47.9%
LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信	407	26.7%
マイナンバーカードの利用拡大	372	24.4%
手数料、一時保育料等の集金のキャッシュレス化	285	18.7%
その他	64	4.2%
無回答	88	5.8%
回答者数	1,525	

4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について

問12 自治会などの集まりや行事に参加していますか。【1つに○】

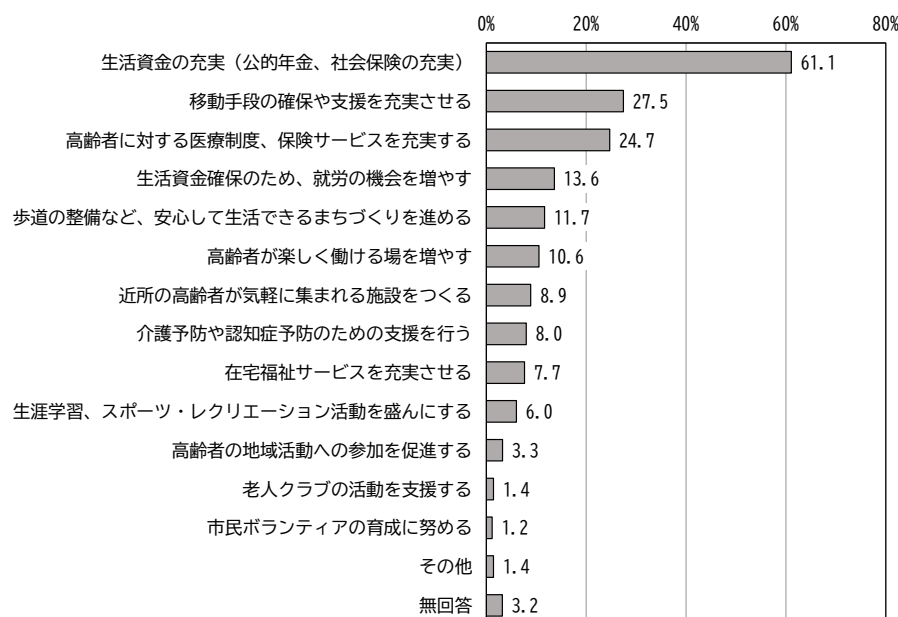
行事への参加については、「いつも参加している(18.8%)」、「ときどき参加している(20.9%)」を合わせた『参加している(計)』が39.7%に対し、「あまり参加していない(20.1%)」、「参加していない(37.2%)」を合わせた『参加していない(計)』が57.3%となっています。



項目	n	%
いつも参加している	287	18.8%
ときどき参加している	318	20.9%
あまり参加していない	306	20.1%
参加していない	568	37.2%
無回答	46	3.0%
合計	1,525	100.0%

問 13 高齢化が進む中、幸せで生きがいのある老後を送るために、何が大切だと思いますか。【2つまで○】

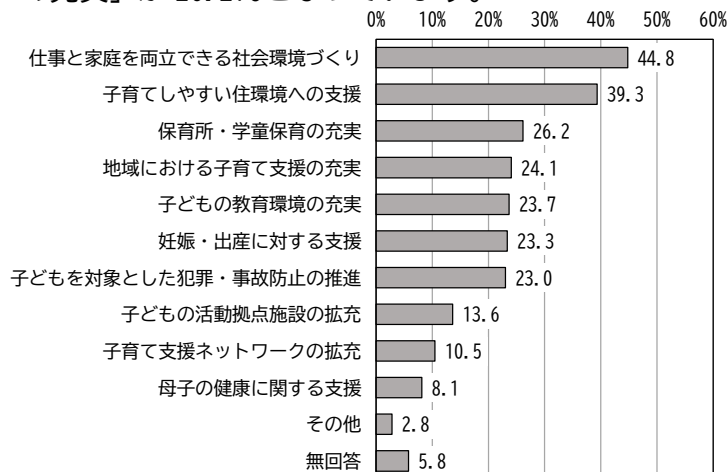
幸せで生きがいのある老後を送るために大切だと思うことについては、「生活資金の充実(公的年金、社会保険の充実)」が61.1%と最も多く、次いで、「移動手段の確保や支援を充実させる」が27.5%、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」が24.7%となっています。



項目	n	%
生活資金の充実 (公的年金、社会保険の充実)	932	61.1%
移動手段の確保や支援を充実させる	419	27.5%
高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する	377	24.7%
生活資金確保のため、就労の機会を増やす	208	13.6%
歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める	178	11.7%
高齢者が楽しく働ける場を増やす	161	10.6%
近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる	136	8.9%
介護予防や認知症予防のための支援を行う	122	8.0%
在宅福祉サービスを充実させる	117	7.7%
生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	92	6.0%
高齢者の地域活動への参加を促進する	50	3.3%
老人クラブの活動を支援する	22	1.4%
市民ボランティアの育成に努める	18	1.2%
その他	22	1.4%
無回答	49	3.2%
回答者数	1,525	

問 14 市の子育て支援に期待することは何ですか。【3つまで○】

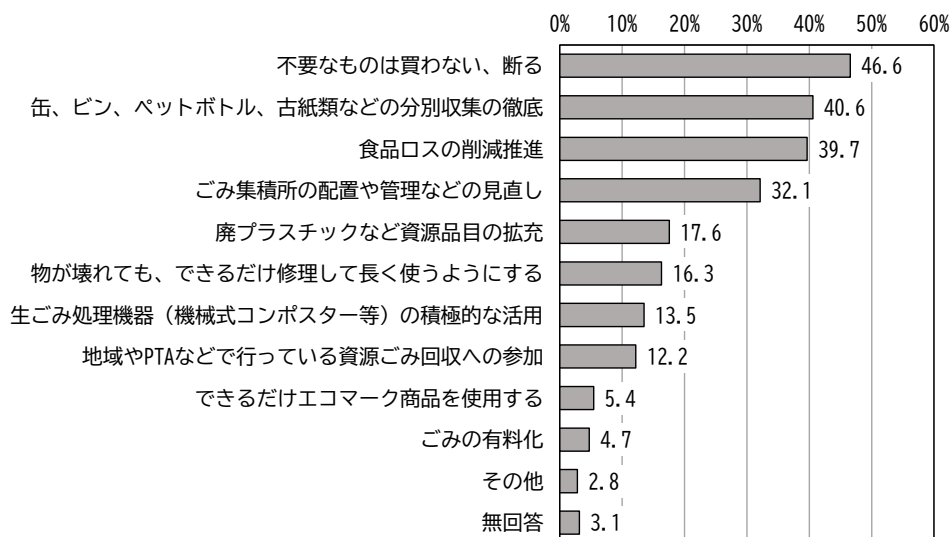
市の子育て支援に期待することについては、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が44.8%と最も多く、次いで、「子育てしやすい住環境への支援」が39.3%、「保育所・学童保育の充実」が26.2%となっています。



項目	n	%
仕事と家庭を両立できる社会環境づくり	683	44.8%
子育てしやすい住環境への支援	600	39.3%
保育所・学童保育の充実	399	26.2%
地域における子育て支援の充実	367	24.1%
子どもの教育環境の充実	361	23.7%
妊娠・出産に対する支援	356	23.3%
子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	351	23.0%
子どもの活動拠点施設の拡充	208	13.6%
子育て支援ネットワークの拡充	160	10.5%
母子の健康に関する支援	124	8.1%
その他	43	2.8%
無回答	88	5.8%
回答者数	1,525	

問 15 ごみに関する課題の一つとして、家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思うかについては、「不要なものを買わない、断る」が46.6%と最も多く、次いで、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」が40.6%、「食品ロスの削減推進」が39.7%となっています。

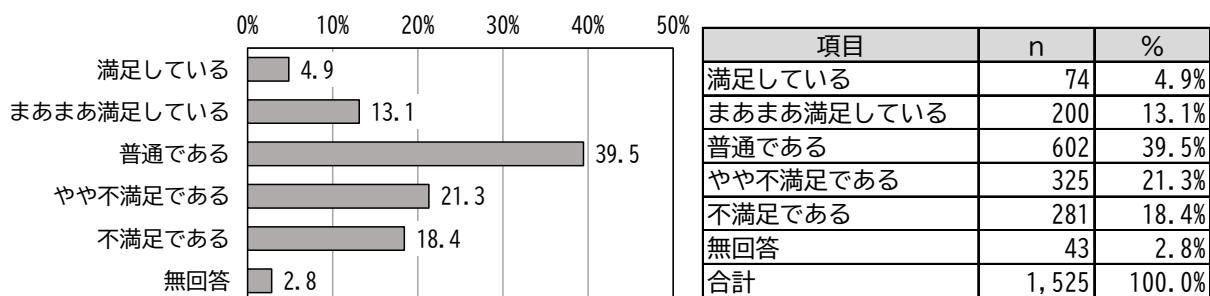


項目	n	%
不要なものを買わない、断る	710	46.6%
缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底	619	40.6%
食品ロスの削減推進	605	39.7%
ごみ集積所の配置や管理などの見直し	490	32.1%
廃プラスチックなど資源品目の拡充	268	17.6%
物が壊れても、できるだけ修理して長く使うようにする	249	16.3%
生ごみ処理機器（機械式コンポスター等）の積極的な活用	206	13.5%
地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加	186	12.2%
できるだけエコマーク商品を使用する	83	5.4%
ごみの有料化	72	4.7%
その他	43	2.8%
無回答	48	3.1%
回答者数	1,525	

問 16 羽生市の公共交通（鉄道・バスなど）に満足していますか。【1つに○】

公共交通の満足度については、「満足している(4.9%)」、「まあまあ満足している(13.1%)」を合わせた『満足している(計)』が18.0%に対し、「やや不満足である(21.3%)」、「不満足である(18.4%)」を合わせた『不満足である(計)』が39.7%となっています。

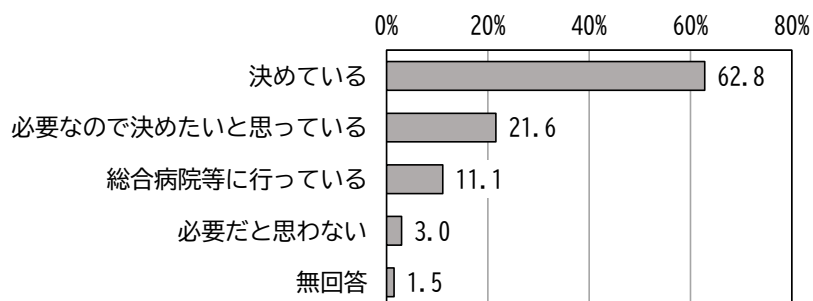
また、「普通である」が39.5%となっています。



5. 医療・防災・防犯について

問 17 かかりつけ医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに〇】

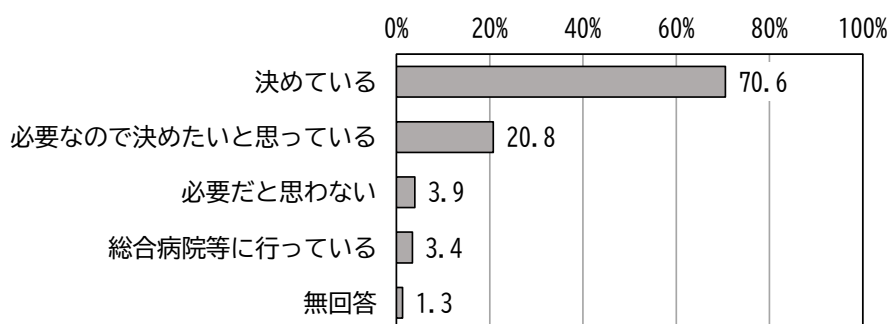
かかりつけ医または診療所（医院）を決めているかについては、「決めている」が62.8%と最も多く、次いで、「必要なので決めたいと思っている」が21.6%、「総合病院等に行っている」が11.1%となっています。



項目	n	%
決めている	957	62.8%
必要なので決めたいと思っている	329	21.6%
総合病院等に行っている	170	11.1%
必要だと思わない	45	3.0%
無回答	24	1.5%
合計	1,525	100.0%

問 18 かかりつけ歯科医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに〇】

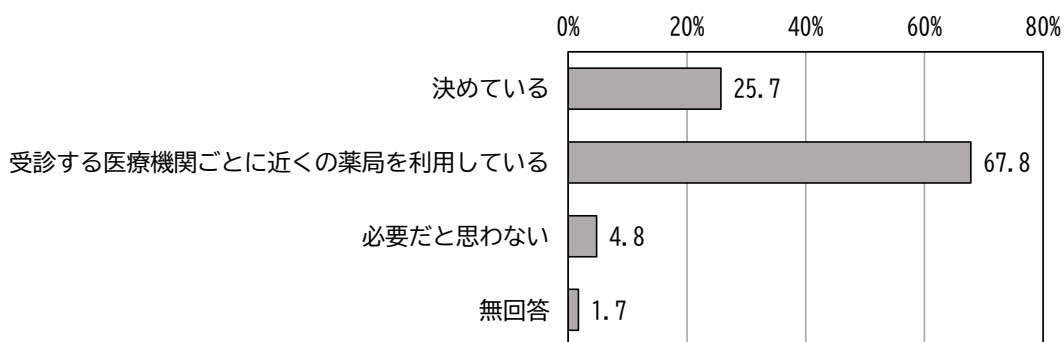
かかりつけ歯科医または診療所（医院）を決めているかについては、「決めている」が70.6%と最も多く、次いで、「必要なので決めたいと思っている」が20.8%、「必要だと思わない」が3.9%となっています。



項目	n	%
決めている	1,076	70.6%
必要なので決めたいと思っている	317	20.8%
必要だと思わない	60	3.9%
総合病院等に行っている	52	3.4%
無回答	20	1.3%
合計	1,525	100.0%

問 19 かかりつけ薬局を決めていますか。【1つに○】

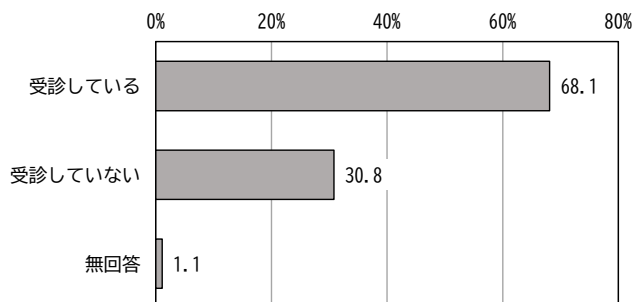
かかりつけ薬局を決めているかについては、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が67.8%と最も多く、次いで、「決めている」が25.7%、「必要だと思わない」が4.8%となっています。



項目	n	%
決めている	392	25.7%
受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している	1,034	67.8%
必要だと思わない	73	4.8%
無回答	26	1.7%
合計	1,525	100.0%

問 20 毎年、健康診断等を受診していますか。【1つに○】

毎年、健康診断等を受診しているかについては、「受診している」が68.1%に対し、「受診していない」が30.8%となっています。

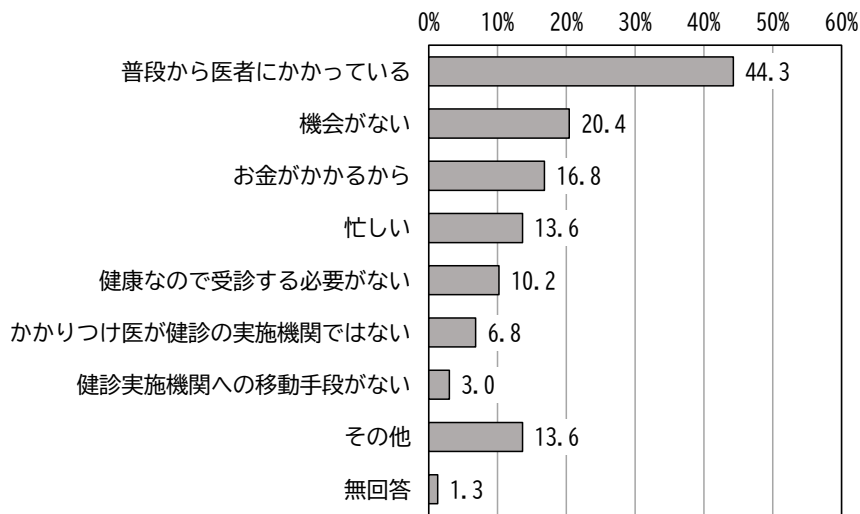


項目	n	%
受診している	1,039	68.1%
受診していない	470	30.8%
無回答	16	1.1%
合計	1,525	100.0%

問 20 で「(健康診断等を) 受診していない」を選択した方のみ回答

問 20-a 健康診断等を受診していない理由は何ですか【いくつでも〇】

健康診断等を受診していない理由については、「普段から医者にかかっている」が 44.3%と最も多く、次いで、「機会がない」が 20.4%、「お金がかかるから」が 16.8%となっています。

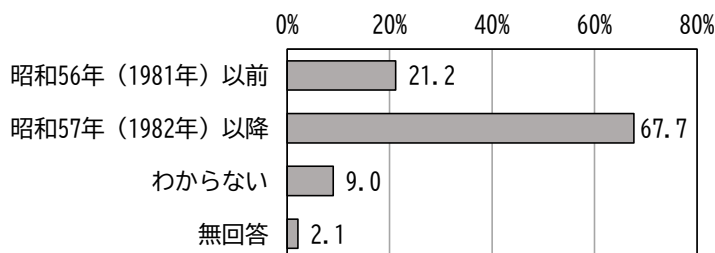


項目	n	%
普段から医者にかかっている	208	44.3%
機会がない	96	20.4%
お金がかかるから	79	16.8%
忙しい	64	13.6%
健康なので受診する必要がない	48	10.2%
かかりつけ医が健診の実施機関ではない	32	6.8%
健診実施機関への移動手段がない	14	3.0%
その他	64	13.6%
無回答	6	1.3%
回答者数	470	
非該当	1,055	
合計	1,525	

問 21 地震による被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要といわれています。そこで、お住まいの家について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに〇】

(1) お住まいの家が建てられた時期は、いつですか。

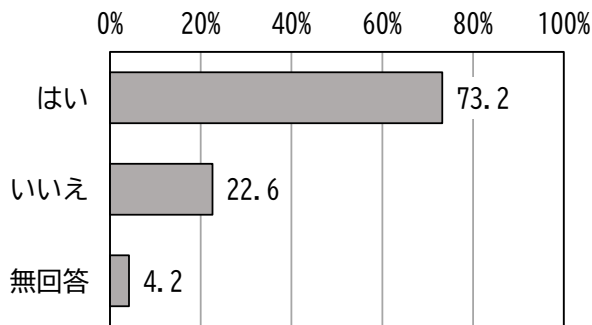
家が建てられた時期については、「昭和 57 年 (1982 年) 以降」が 67.7%と最も多く、次いで、「昭和 56 年 (1981 年) 以前」が 21.2%、「わからない」が 9.0%となっています。



項目	n	%
昭和56年(1981年)以前	324	21.2%
昭和57年(1982年)以降	1,033	67.7%
わからない	137	9.0%
無回答	31	2.1%
合計	1,525	100.0%

(2) お住まいの家が地震に対して、どの程度安全か知りたいですか。

地震に対して安全か知りたい方については、「はい (知りたい)」が 73.2%に対し、「いいえ」が 22.6%となっています。

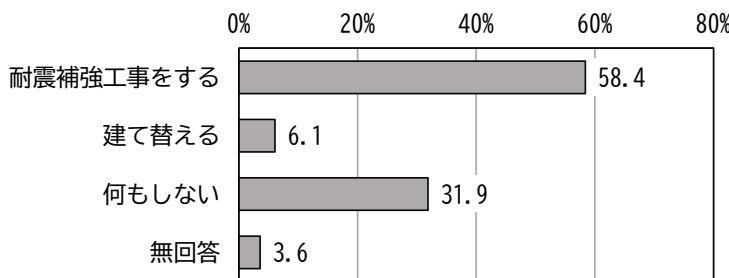


項目	n	%
はい	1,117	73.2
いいえ	344	22.6
無回答	64	4.2
合計	1,525	100.0

(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。

○ 持ち家の方

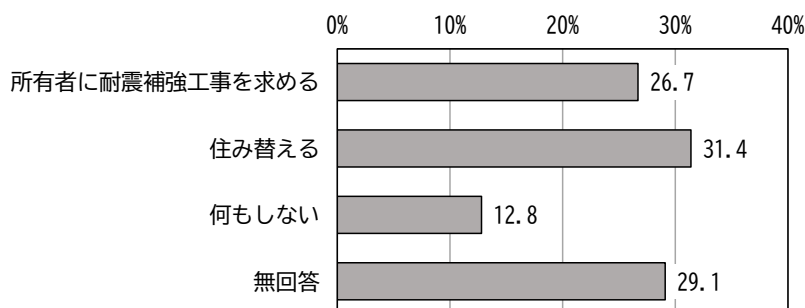
大地震の際の安全性に問題があると分かった場合の対応について“持ち家”では、「耐震補強工事をする」が 58.4%と最も多く、次いで、「何もしない」が 31.9%、「建て替える」が 6.1%となっています。



項目	n	%
耐震補強工事をする	820	58.4
建て替える	86	6.1
何もしない	447	31.9
無回答	50	3.6
回答者数	1,403	100.0
非該当	122	
合計	1,525	

○ 借家の方

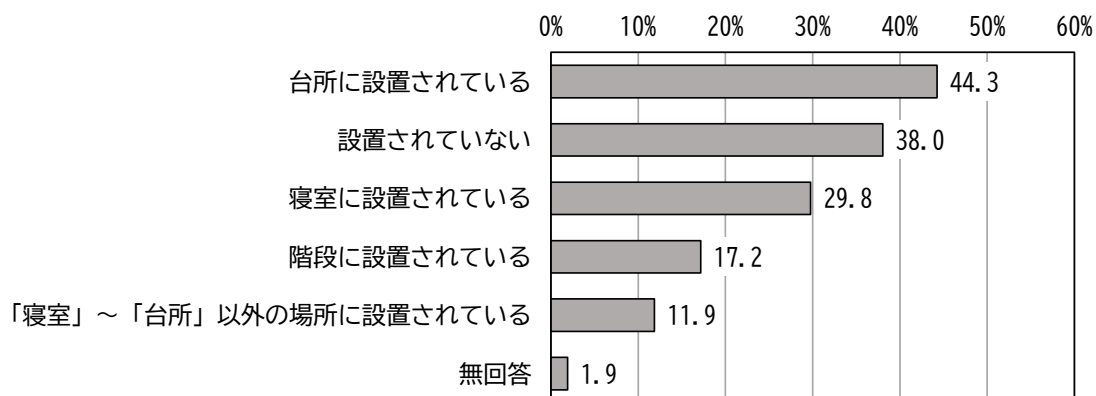
お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合の対応について“借家”では、「住み替える」が 31.4%と最も多く、次いで、「所有者に耐震補強工事を求める」が 26.7%、「何もしない」が 12.8%となっています。



項目	n	%
所有者に耐震補強工事を求める	46	26.7
住み替える	54	31.4
何もしない	22	12.8
無回答	50	29.1
回答者数	172	100.0
非該当	1,353	
合計	1,525	

問 22 あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【いくつでも○】

住宅用火災警報器の設置場所については、「台所に設置されている」が 44.3%と最も多く、次いで、「設置されていない」が 38.0%、「寝室に設置されている」が 29.8%となっています。



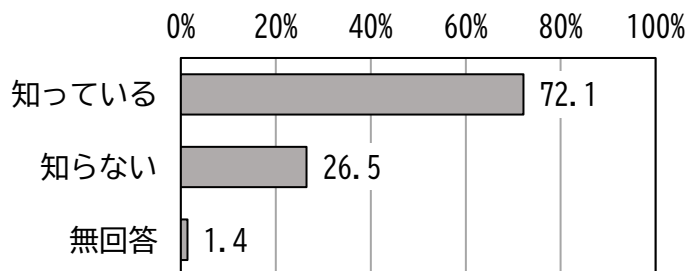
項目	n	%
台所に設置されている	675	44.3%
設置されていない	580	38.0%
寝室に設置されている	454	29.8%
階段に設置されている	262	17.2%
「寝室」～「台所」以外の場所に設置されている	181	11.9%
無回答	29	1.9%
回答者数	1,525	

【火災警報器 設置場所別集計】

	設置場所					合計		
	寝室	階段	台所	その他	件数	%	件数	%
4か所以上	○	○	○	○	40	2.6	40	2.6
3か所	○	○	○		92	6.0	141	9.2
	○	○		○	6	0.4		
	○		○	○	37	2.4		
		○	○	○	6	0.4		
2か所	○	○			31	2.0	254	16.7
	○		○		147	9.7		
	○			○	12	0.8		
		○	○		52	3.4		
		○		○	0	0.0		
			○	○	12	0.8		
1か所	○				89	5.8	481	31.6
		○			35	2.3		
			○		289	19.0		
				○	68	4.5		
設置なし					580	38.0	580	38.0
無回答					29	1.9	29	1.9
				合計	1,525	100.0	1,525	100.0

問 23 震災・水害時の避難所をご存じですか。【1つに〇】

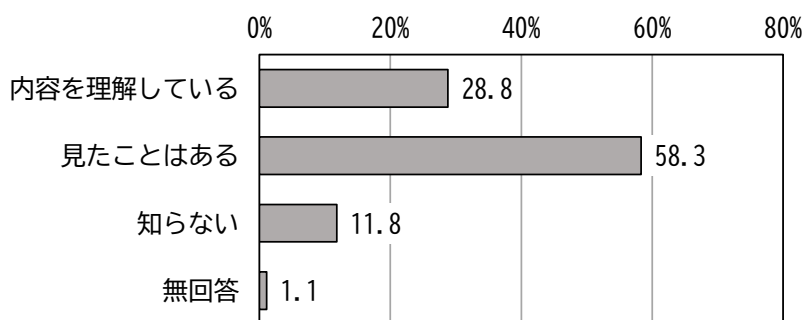
震災・水害時の避難所については、「知っている」が72.1%に対し、「知らない」が26.5%となっています。



項目	n	%
知っている	1,100	72.1%
知らない	404	26.5%
無回答	21	1.4%
合計	1,525	100.0%

問 24 ハザードマップ※をご存じですか。【1つに〇】

ハザードマップについては、「見たことはある」が58.3%と最も多く、次いで、「内容を理解している」が28.8%、「知らない」が11.8%となっています。

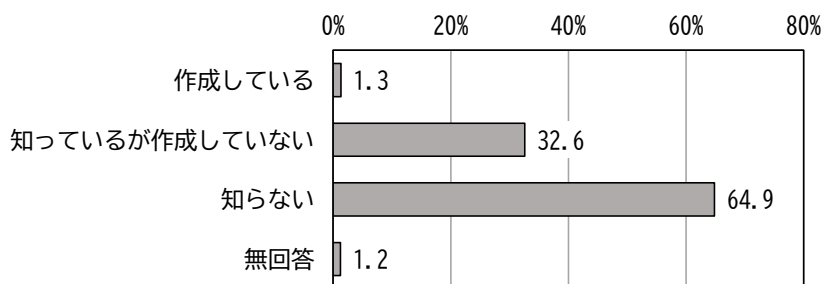


項目	n	%
内容を理解している	439	28.8%
見たことはある	889	58.3%
知らない	180	11.8%
無回答	17	1.1%
合計	1,525	100.0%

※ハザードマップとは、地震や台風などにより発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度など示した地図のことです。

問 25 マイ・タイムライン※を作成していますか。【1つに〇】

マイ・タイムラインの作成については、「知らない」が64.9%と最も多く、次いで、「知っているが作成していない」が32.6%、「作成している」が1.3%となっています。

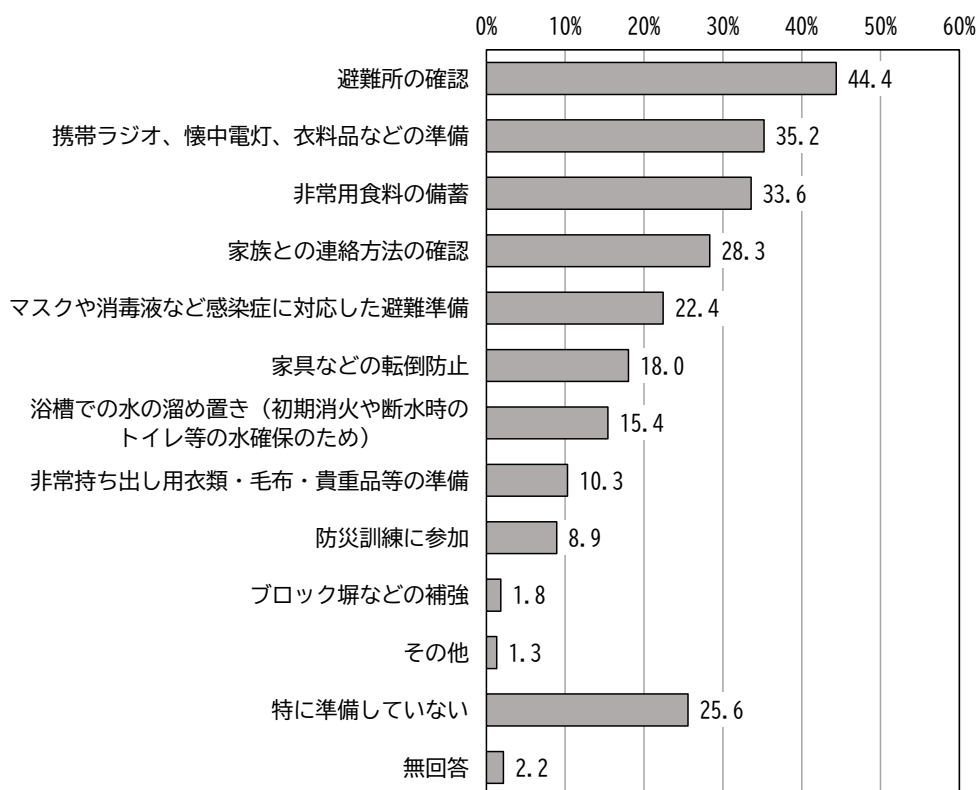


項目	n	%
作成している	20	1.3%
知っているが作成していない	497	32.6%
知らない	989	64.9%
無回答	19	1.2%
合計	1,525	100.0%

※マイ・タイムラインとは、台風の接近で河川の水位が上昇する時などに、ご自身がとるべき防災行動を時系列で整理・とりまとめた行動計画表のことです。

問 26 震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。【いくつでも〇】

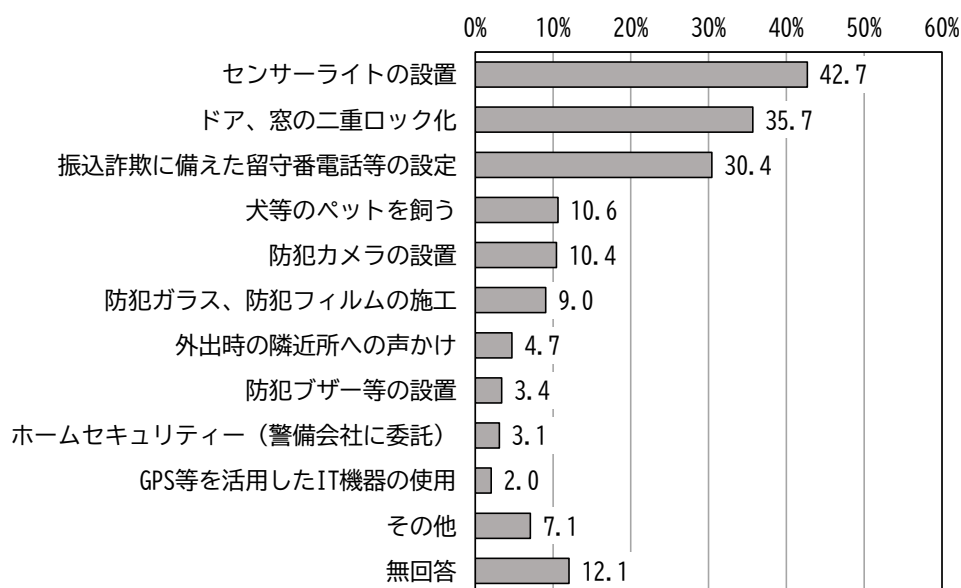
災害時の備えについては、「避難所の確認」が44.4%と最も多く、次いで、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が35.2%、「非常用食料の備蓄」が33.6%となっています。



項目	n	%
避難所の確認	677	44.4%
携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	537	35.2%
非常用食料の備蓄	512	33.6%
家族との連絡方法の確認	432	28.3%
マスクや消毒液など感染症に対応した避難準備	342	22.4%
家具などの転倒防止	275	18.0%
浴槽での水の溜め置き（初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため）	235	15.4%
非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備	157	10.3%
防災訓練に参加	136	8.9%
ブロック塀などの補強	28	1.8%
その他	20	1.3%
特に準備していない	390	25.6%
無回答	33	2.2%
回答者数	1,525	

問 27 現在行っている防犯対策は何ですか。【いくつでも○】

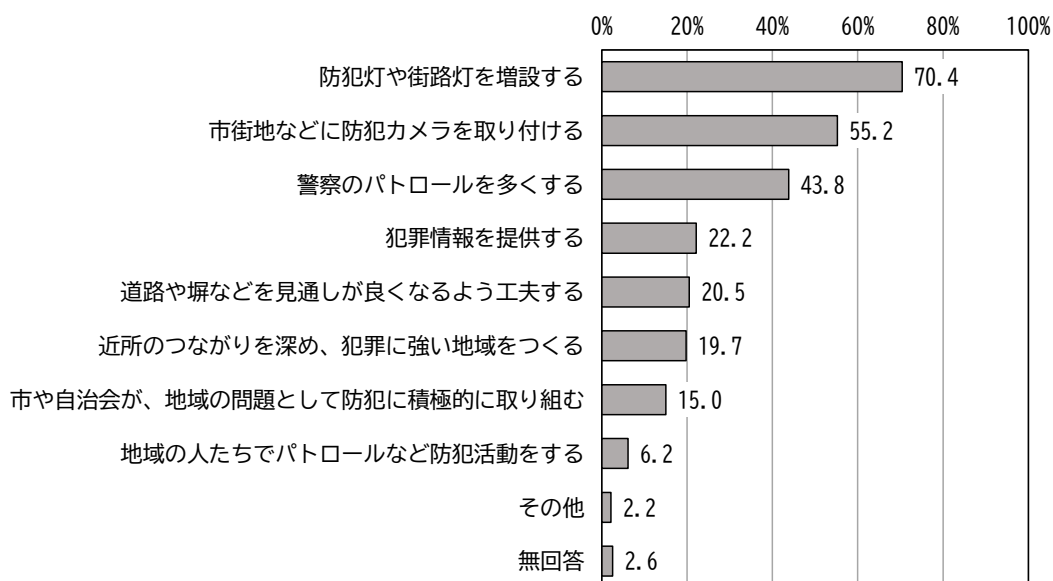
防犯対策については、「センサーライトの設置」が 42.7%と最も多く、次いで、「ドア、窓の二重ロック化」が 35.7%、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」が 30.4%となっています。



項目	n	%
センサーライトの設置	651	42.7%
ドア、窓の二重ロック化	544	35.7%
振込詐欺に備えた留守番電話等の設定	464	30.4%
犬等のペットを飼う	162	10.6%
防犯カメラの設置	159	10.4%
防犯ガラス、防犯フィルムの施工	138	9.0%
外出時の隣近所への声かけ	72	4.7%
防犯ブザー等の設置	52	3.4%
ホームセキュリティー（警備会社に委託）	47	3.1%
GPS等を活用したIT機器の使用	31	2.0%
その他	108	7.1%
無回答	184	12.1%
回答者数	1,525	

問 28 身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」が70.4%と最も多く、次いで、「市街地などに防犯カメラを取り付ける」が55.2%、「警察のパトロールを多くする」が43.8%となっています。

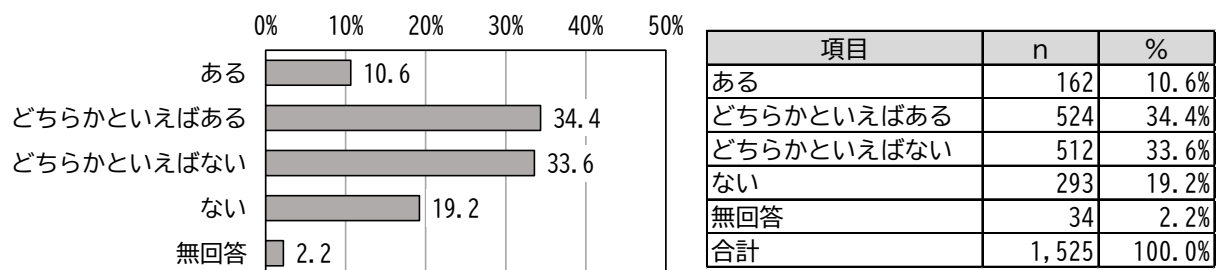


項目	n	%
防犯灯や街路灯を増設する	1,074	70.4%
市街地などに防犯カメラを取り付ける	842	55.2%
警察のパトロールを多くする	668	43.8%
犯罪情報を提供する	338	22.2%
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	313	20.5%
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	301	19.7%
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	229	15.0%
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	94	6.2%
その他	33	2.2%
無回答	39	2.6%
回答者数	1,525	

6. 市議会について

問 29 市議会に関心がありますか。【1つに○】

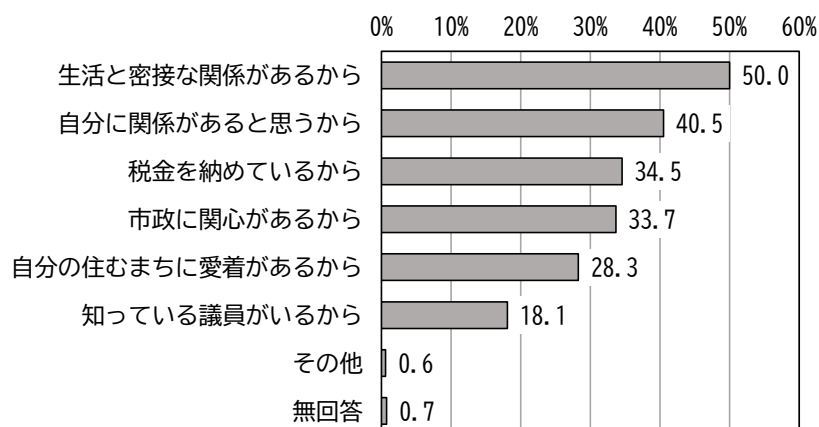
市議会への関心度については、「ある(10.6%)」、「どちらかといえばある(34.4%)」を合わせた『関心がある(計)』が45.0%に対し、「どちらかといえばない(33.6%)」、「ない(19.2%)」を合わせた『関心がない(計)』が52.8%となっています。



問 29 で「(関心が) ある」、「(関心が) どちらかといえばある」のいずれかを選択した方のみ回答

問 29-a その理由を教えてください。【いくつでも○】

市議会へ関心がある理由については、「生活と密接な関係があるから」が50.0%と最も多く、次いで、「自分に関係があると思うから」が40.5%、「税金を納めているから」が34.5%となっています。

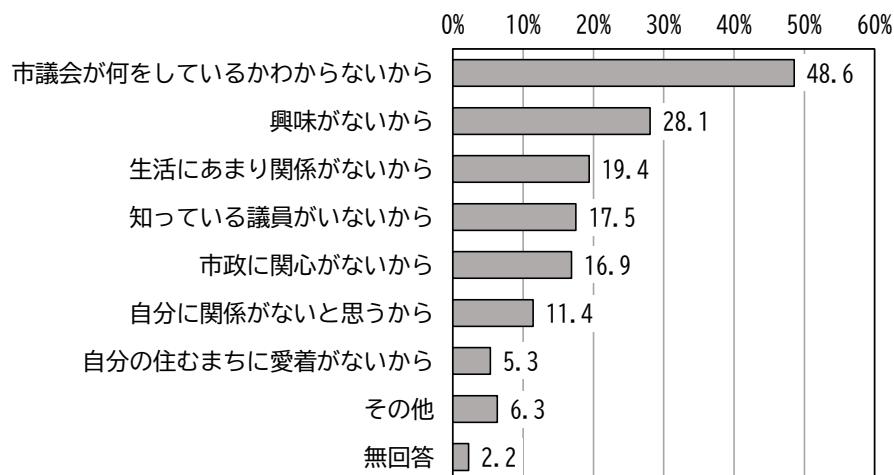


項目	n	%
生活と密接な関係があるから	343	50.0%
自分に関係があると思うから	278	40.5%
税金を納めているから	237	34.5%
市政に関心があるから	231	33.7%
自分の住むまちに愛着があるから	194	28.3%
知っている議員がいるから	124	18.1%
その他	4	0.6%
無回答	5	0.7%
回答者数	686	
非該当	839	
合計	1,525	

問 29 で「(関心が) どちらかといえない」、「(関心が) ない」のいずれかを選択した方のみ回答

問 29－b その理由を教えてください。【いくつでも○】

市議会へ関心がない理由については、「市議会が何をしているかわからないから」が 48.6% と最も多く、次いで、「興味がないから」が 28.1%、「生活にあまり関係がないから」が 19.4% となっています。



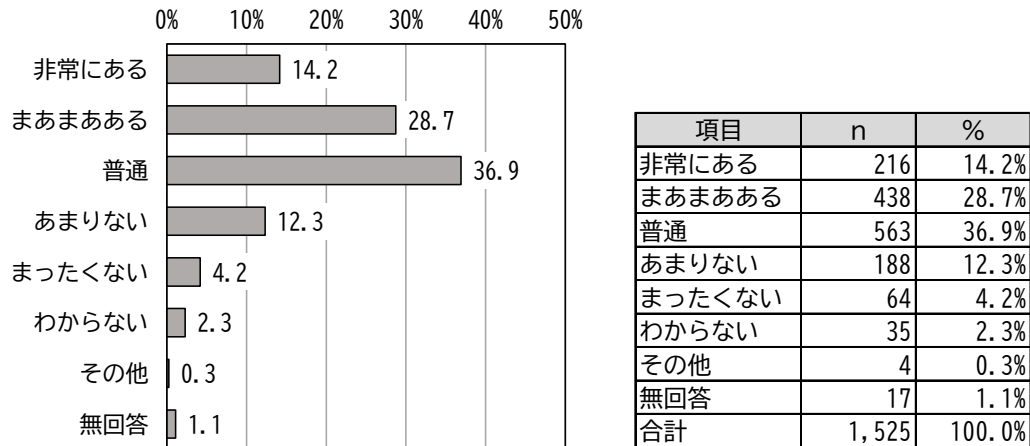
項目	n	%
市議会が何をしているかわからないから	391	48.6%
興味がないから	226	28.1%
生活にあまり関係がないから	156	19.4%
知っている議員がないから	141	17.5%
市政に関心がないから	136	16.9%
自分に関係がないと思うから	92	11.4%
自分の住むまちに愛着がないから	43	5.3%
その他	51	6.3%
無回答	18	2.2%
回答者数	805	
非該当	720	
合計	1,525	

7. 選挙について

問 30 政治や選挙にどの程度関心がありますか。【1つに○】

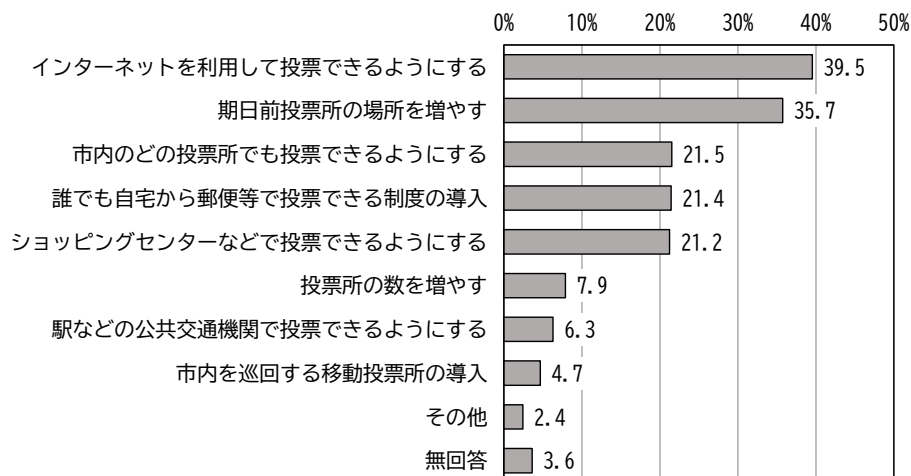
政治や選挙への関心度については「非常にある（14.2%）」、「まあまあある（28.7%）」を合わせた『関心がある（計）』が42.9%に対し、「あまりない（12.3%）」、「まったくない（4.2%）」を合わせた『関心がない（計）』が16.5%となっています。

また、「普通」が36.9%、「わからない」が2.3%となっています。



問 31 投票しやすい環境として有効な手段はどの手段だと思えますか。【2つまで○】

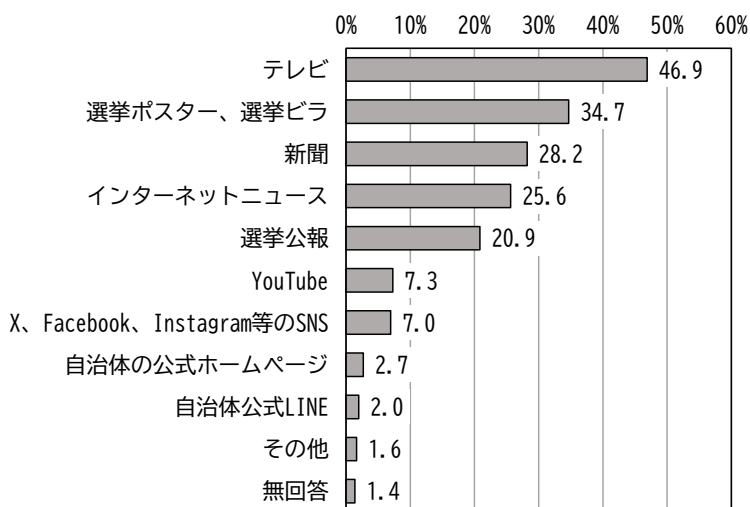
投票しやすい環境として有効な手段については、「インターネットを利用して投票できるようにする」が39.5%と最も多く、次いで、「期日前投票所の場所を増やす」が35.7%、「市内のどの投票所でも投票できるようにする」が21.5%となっています。



項目	n	%
インターネットを利用して投票できるようにする	603	39.5%
期日前投票所の場所を増やす	545	35.7%
市内のどの投票所でも投票できるようにする	328	21.5%
誰でも自宅から郵便等で投票できる制度の導入	327	21.4%
ショッピングセンターなどで投票できるようにする	324	21.2%
投票所の数を増やす	120	7.9%
駅などの公共交通機関で投票できるようにする	96	6.3%
市内を巡回する移動投票所の導入	71	4.7%
その他	37	2.4%
無回答	55	3.6%
回答者数	1,525	

問 32 選挙に関する情報をどのような媒体から取得しますか。【2つまで〇】

選挙に関する情報の取得先については、「テレビ」が46.9%と最も多く、次いで、「選挙ポスター、選挙ビラ」が34.7%、「新聞」が28.2%となっています。



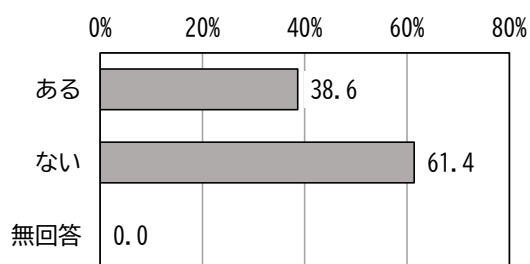
項目	n	%
テレビ	715	46.9%
選挙ポスター、選挙ビラ	529	34.7%
新聞	430	28.2%
インターネットニュース	391	25.6%
選挙公報	318	20.9%
YouTube	111	7.3%
X、Facebook、Instagram等のSNS	106	7.0%
自治体の公式ホームページ	41	2.7%
自治体公式LINE	30	2.0%
その他	25	1.6%
無回答	21	1.4%
回答者数	1,525	

8. 文化・スポーツについて

未就学児の保護者の方のみ回答

問 33 小さい頃から身近に本がある環境で育った子どもは読書好きになるというデータがあります。あなたの家には、子どもが読書を楽しめる「おうち図書館※」はありますか。【1つに〇】

「おうち図書館」の有無については、「ある」が38.6%に対し、「ない」が61.4%となっています。



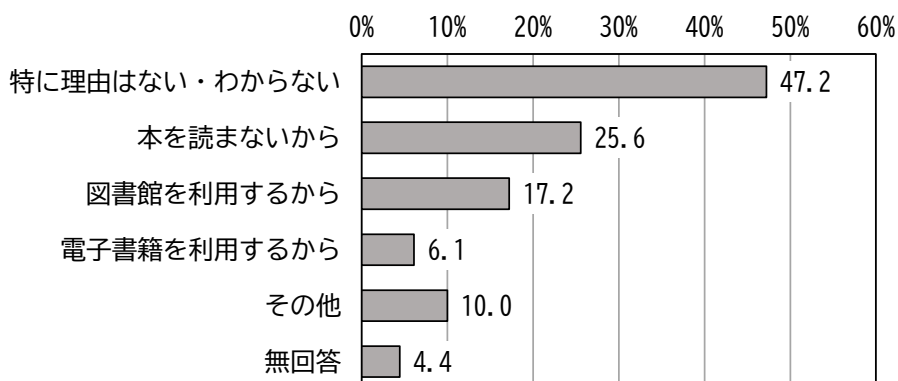
項目	n	%
ある	113	38.6%
ない	180	61.4%
無回答	0	0.0%
回答者数	293	100.0%
非該当	1,232	
合計	1,525	

※おうち図書館とは、家にいつでも本に触れることが出来る読書コーナーをつくることです。

問 33 で「(おうち図書館が) ない」を選択した方のみ回答

問 33-a その理由を教えてください。【いくつでも○】

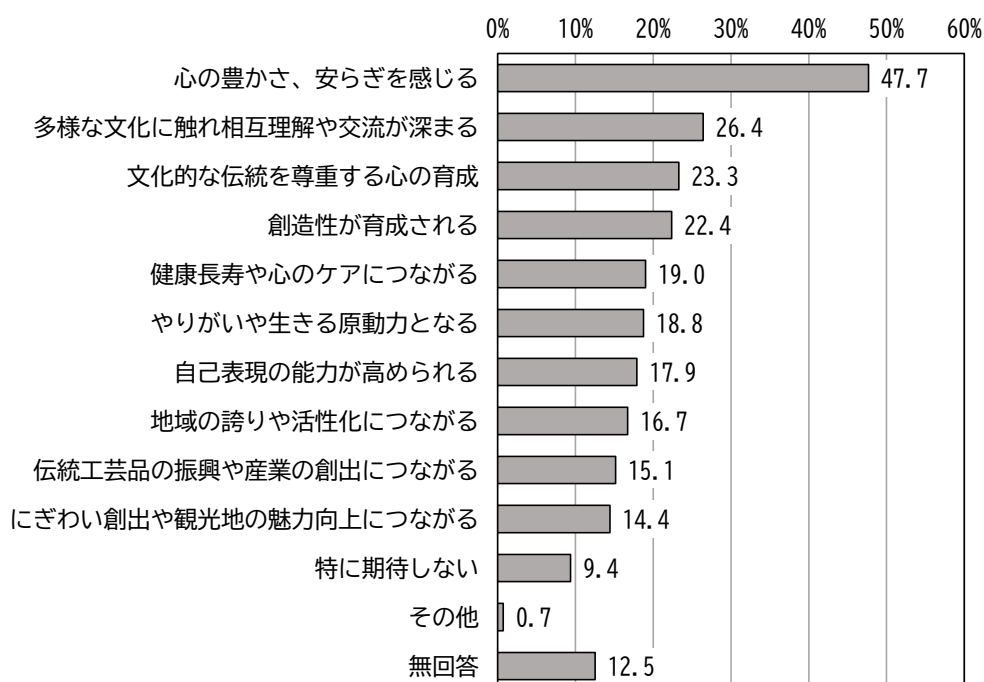
「おうち図書館」がない理由については、「特に理由はない・わからない」が 47.2%と最も多く、次いで、「本を読まないから」が 25.6%、「図書館を利用するから」が 17.2%となっています。



項目	n	%
特に理由はない・わからない	85	47.2%
本を読まないから	46	25.6%
図書館を利用するから	31	17.2%
電子書籍を利用するから	11	6.1%
その他	18	10.0%
無回答	8	4.4%
回答者数	180	
非該当	1,345	
合計	1,525	

問 34 近年、文化芸術には教育や産業など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものはなんですか。【いくつでも○】

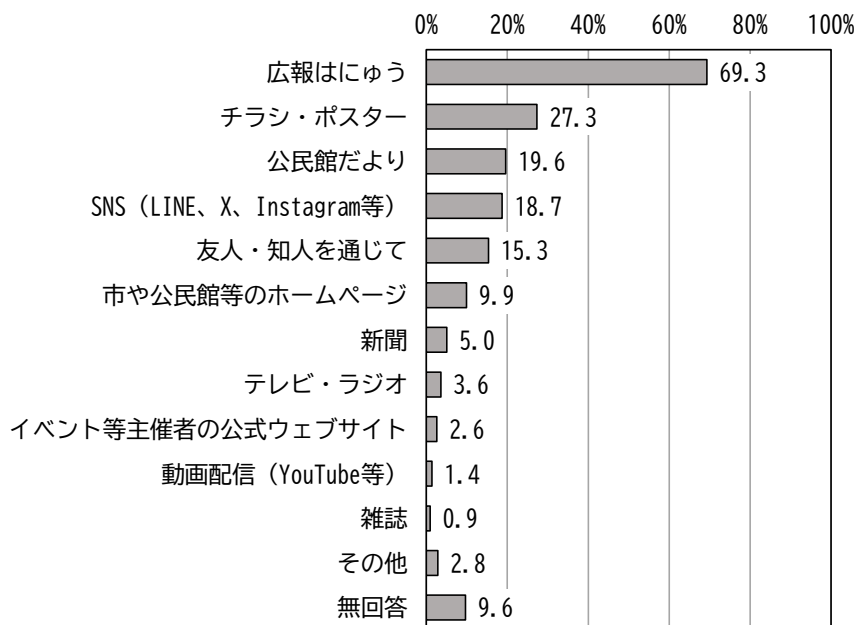
文化芸術に期待するものについては、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が 47.7%と最も多く、次いで、「多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる」が 26.4%、「文化的な伝統を尊重する心の育成」が 23.3%となっています。



項目	n	%
心の豊かさ、安らぎを感じる	727	47.7%
多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる	403	26.4%
文化的な伝統を尊重する心の育成	355	23.3%
創造性が育成される	341	22.4%
健康長寿や心のケアにつながる	290	19.0%
やりがいや生きる原動力となる	286	18.8%
自己表現の能力が高められる	273	17.9%
地域の誇りや活性化につながる	255	16.7%
伝統工芸品の振興や産業の創出につながる	231	15.1%
にぎわい創出や観光地の魅力向上につながる	220	14.4%
特に期待しない	143	9.4%
その他	11	0.7%
無回答	191	12.5%
回答者数	1,525	

問 35 羽生市内での文化芸術に関する情報（イベント・講座・企画・鑑賞等）をどんなところから得ていますか。【いくつでも○】

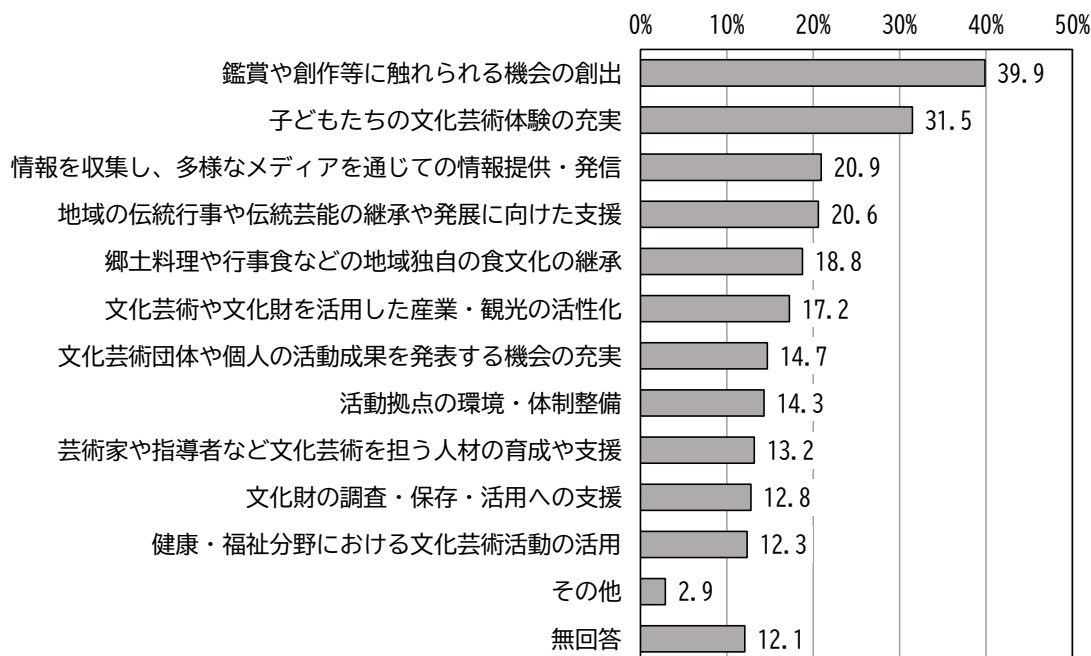
市内の文化芸術に関する情報の入手先については、「広報はにゅう」が 69.3%と最も多く、次いで、「チラシ・ポスター」が 27.3%、「公民館だより」が 19.6%となっています。



項目	n	%
広報はにゅう	1,057	69.3%
チラシ・ポスター	417	27.3%
公民館だより	299	19.6%
SNS (LINE、X、Instagram等)	285	18.7%
友人・知人を通じて	234	15.3%
市や公民館等のホームページ	151	9.9%
新聞	77	5.0%
テレビ・ラジオ	55	3.6%
イベント等主催者の公式ウェブサイト	39	2.6%
動画配信 (YouTube等)	21	1.4%
雑誌	14	0.9%
その他	43	2.8%
無回答	147	9.6%
回答者数	1,525	

問 36 羽生市の文化芸術振興における施策として、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。
【いくつでも〇】

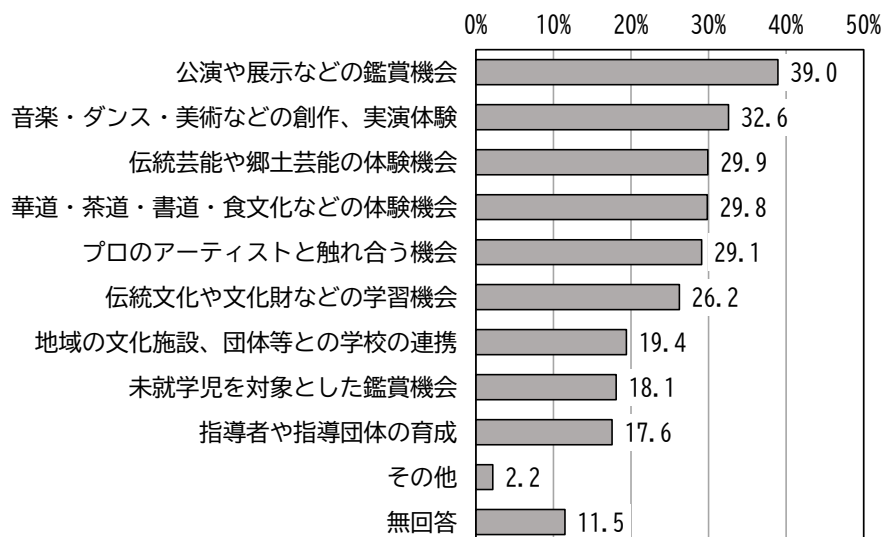
文化芸術振興における施策として今後必要な取り組みについては、「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」が 39.9%と最も多く、次いで、「子どもたちの文化芸術体験の充実」が 31.5%、「情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信」が 20.9%となっています。



項目	n	%
鑑賞や創作等に触れられる機会の創出	608	39.9%
子どもたちの文化芸術体験の充実	480	31.5%
情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信	319	20.9%
地域の伝統行事や伝統芸能の継承や発展に向けた支援	314	20.6%
郷土料理や行事食などの地域独自の食文化の継承	286	18.8%
文化芸術や文化財を活用した産業・観光の活性化	263	17.2%
文化芸術団体や個人の活動成果を発表する機会の充実	224	14.7%
活動拠点の環境・体制整備	218	14.3%
芸術家や指導者など文化芸術を担う人材の育成や支援	201	13.2%
文化財の調査・保存・活用への支援	195	12.8%
健康・福祉分野における文化芸術活動の活用	188	12.3%
その他	44	2.9%
無回答	184	12.1%
回答者数	1,525	

問 37 子どもたちが文化芸術に親しむための取り組みについて、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。【いくつでも○】

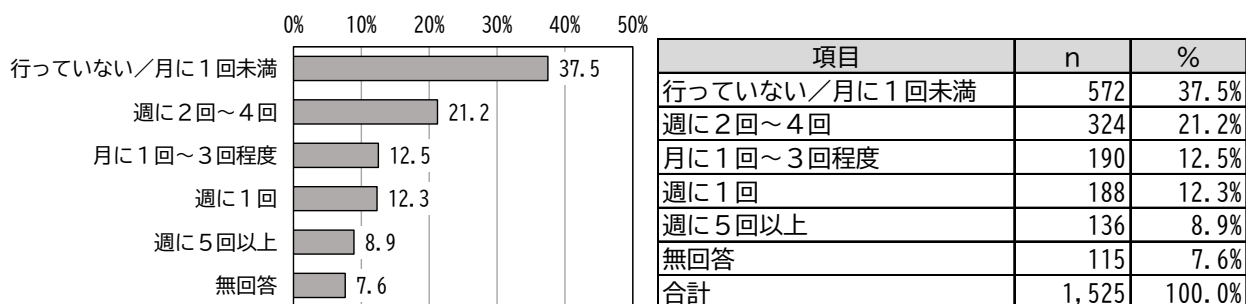
子どもたちが文化芸術に親しむため、充実すべきことについては、「公演や展示などの鑑賞機会」が 39.0%と最も多く、次いで、「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」が 32.6%、「伝統芸能や郷土芸能の体験機会」が 29.9%となっています。



項目	n	%
公演や展示などの鑑賞機会	594	39.0%
音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験	497	32.6%
伝統芸能や郷土芸能の体験機会	456	29.9%
華道・茶道・書道・食文化などの体験機会	455	29.8%
プロのアーティストと触れ合う機会	444	29.1%
伝統文化や文化財などの学習機会	400	26.2%
地域の文化施設、団体等との学校の連携	296	19.4%
未就学児を対象とした鑑賞機会	276	18.1%
指導者や指導団体の育成	268	17.6%
その他	33	2.2%
無回答	175	11.5%
回答者数	1,525	

問 38 どれ位の頻度でスポーツ活動（ウォーキングや体操・レクリエーション種目を含む）を行っていますか。【1つに〇】

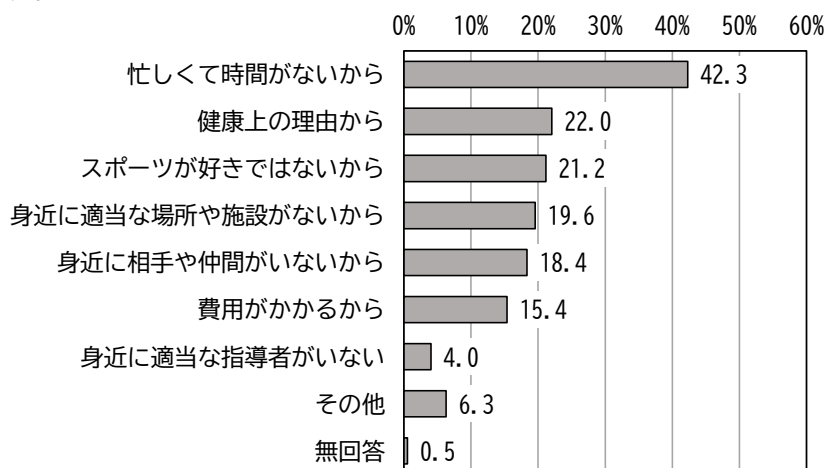
スポーツ活動を行う頻度については、「行っていない／月に1回未満」が37.5%と最も多く、次いで、「週に2回～4回」が21.2%、「月に1回～3回程度」が12.5%となっています。



問 38 で「(スポーツ活動を) 行っていない／月に1回未満」を選択した方のみ回答

問 38-a スポーツ活動を行っていない理由は何ですか【3つまで〇】

スポーツ活動を行っていない理由については、「忙しくて時間がないから」が42.3%と最も多く、次いで、「健康上の理由から」が22.0%、「スポーツが好きではないから」が21.2%となっています。



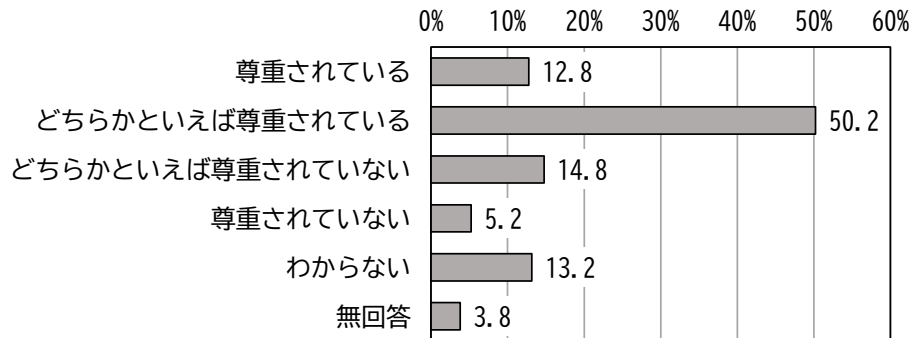
項目	n	%
忙しくて時間がないから	242	42.3%
健康上の理由から	126	22.0%
スポーツが好きではないから	121	21.2%
身近に適当な場所や施設がないから	112	19.6%
身近に相手や仲間がないから	105	18.4%
費用がかかるから	88	15.4%
身近に適当な指導者がいない	23	4.0%
その他	36	6.3%
無回答	3	0.5%
回答者数	572	
非該当	953	
合計	1,525	

9. 人権・男女平等について

問 39 「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、幸せに生きるためになくてはならないものです。今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。【1つに○】

今の社会で基本的人権が尊重されていると思うかについては、「尊重されている(12.8%)」、「どちらかといえば尊重されている(50.2%)」を合わせた『尊重されている(計)』が63.0%に対し、「どちらかといえば尊重されていない(14.8%)」、「尊重されていない(5.2%)」を合わせた『尊重されていない(計)』が20.0%となっています。

また、「わからない」が13.2%となっています。

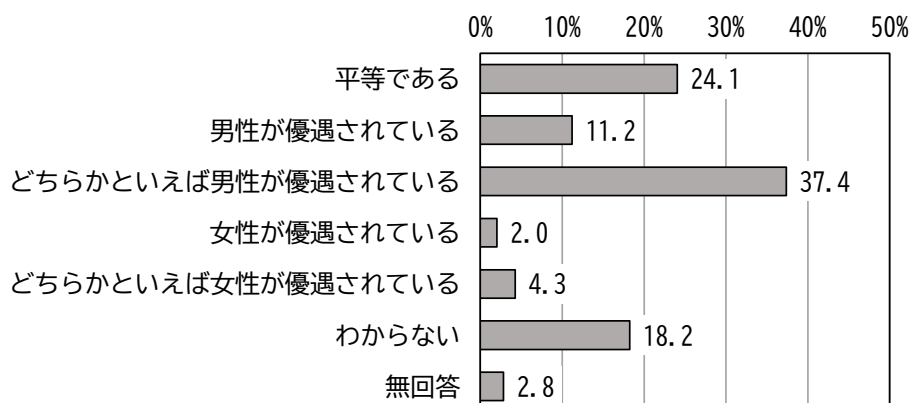


項目	n	%
尊重されている	195	12.8%
どちらかといえば尊重されている	766	50.2%
どちらかといえば尊重されていない	225	14.8%
尊重されていない	80	5.2%
わからない	201	13.2%
無回答	58	3.8%
合計	1,525	100.0%

問 40 あなたのまわりの各場面（慣習・しきたり・社会通念など）において、男女の地位は平等になっていると思いますか。【1つに○】

各場面における男女平等については、「男性が優遇されている(11.2%)」、「どちらかといえば男性が優遇されている(37.4%)」を合わせた『男性が優遇されている(計)』が48.6%に対し、「女性が優遇されている(2.0%)」、「どちらかといえば女性が優遇されている(4.3%)」を合わせた『女性が優遇されている(計)』が6.3%となっています。

また、「平等である」が24.1%、「わからない」が18.2%となっています。

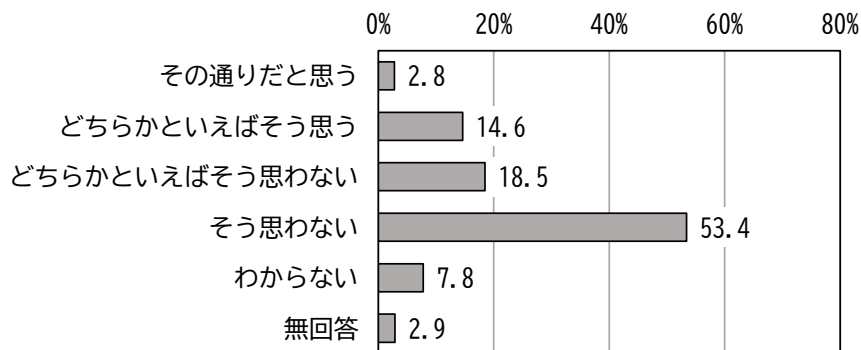


項目	n	%
平等である	367	24.1%
男性が優遇されている	171	11.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	570	37.4%
女性が優遇されている	31	2.0%
どちらかといえば女性が優遇されている	65	4.3%
わからない	278	18.2%
無回答	43	2.8%
合計	1,525	100.0%

問41 『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。【1つに○】

『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思うかについては、「その通りだと思う(2.8%)」、「どちらかといえばそう思う(14.6%)」を合わせた『そう思う(計)』が17.4%に対し、「どちらかといえばそう思わない(18.5%)」、「そう思わない(53.4%)」を合わせた『そう思わない(計)』が71.9%となっています。

また、「わからない」が7.8%となっています。

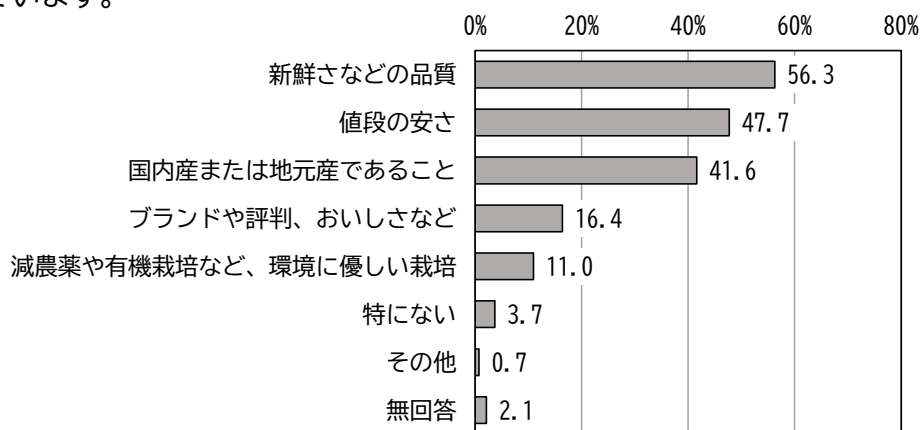


項目	n	%
その通りだと思う	42	2.8%
どちらかといえばそう思う	222	14.6%
どちらかといえばそう思わない	282	18.5%
そう思わない	815	53.4%
わからない	119	7.8%
無回答	45	2.9%
合計	1,525	100.0%

10. 商業・農産業について

問 42 あなたが、米や野菜などの農産物を購入するとき、目安にしていることはどのようなことですか。【2つまで○】

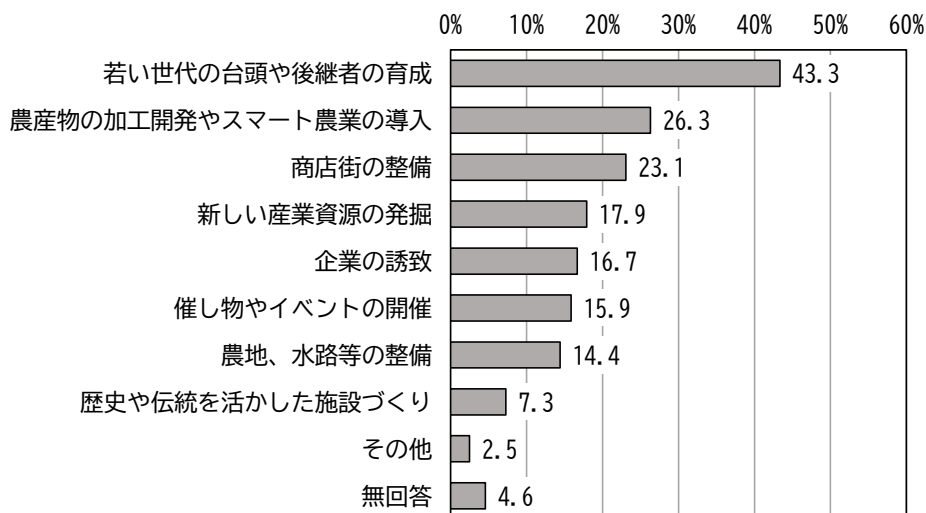
農産物を購入するとき目安にしていることについては、「新鮮さなどの品質」が56.3%と最も多く、次いで、「値段の安さ」が47.7%、「国内産または地元産であること」が41.6%となっています。



項目	n	%
新鮮さなどの品質	858	56.3%
値段の安さ	728	47.7%
国内産または地元産であること	635	41.6%
ブランドや評判、おいしさなど	250	16.4%
減農薬や有機栽培など、環境に優しい栽培	167	11.0%
特にない	56	3.7%
その他	11	0.7%
無回答	32	2.1%
回答者数	1,525	

問 43 市の農業、商業や産業の振興について何が重要だと思いますか。【2つまで〇】

市の農業、商業や産業の振興で重要だと思うことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が 43.3%と最も多く、次いで、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」が 26.3%、「商店街の整備」が 23.1%となっています。



項目	n	%
若い世代の台頭や後継者の育成	661	43.3%
農産物の加工開発やスマート農業の導入	401	26.3%
商店街の整備	352	23.1%
新しい産業資源の発掘	273	17.9%
企業の誘致	254	16.7%
催し物やイベントの開催	242	15.9%
農地、水路等の整備	220	14.4%
歴史や伝統を活かした施設づくり	111	7.3%
その他	38	2.5%
無回答	70	4.6%
回答者数	1,525	

IV. 調査結果のまとめ

1. 羽生市の住み心地について

市の住み心地については、「住み良い」、「まあまあ住み良い」を合わせた『住み良い（計）』が7割以上に対し、「住みにくい」が約6%となっています。

また、住み良い理由については、「永年住みなれ、愛着がある」が最も多く、次いで、「買い物の便が良い」、「自然環境が良い」となっています。一方、住みにくい理由については、「交通の便が悪い」が最も多く、次いで、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」、「買い物が不便である」となっています。

定住意向については、「ずっと住み続けたい」、「当分の間住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』が約7割に対し、「できれば転居したい（市内の他の場所へ）」、「できれば転居したい（市外へ）」を合わせた『できれば転居したい（計）』が約9%となっています。

2. 市からの情報について

市からの情報の入手先については、「広報はにゅう」が最も多く、次いで、「自治会の回覧」、「市公式 LINE（ライン）」となっています。

「広報はにゅう」の閲読については、「必ず読む」、「ときどき読む」を合わせた『読む（計）』が約8割に対し、「まったく読まない」が約1割となっています。また、「届いていない」が約7%となっています。

広報紙を自宅以外で手に取りやすいと思う場所については、「スーパーやコンビニエンスストア」が最も多く、次いで、「医療機関」、「公民館などの公共施設」となっています。

羽生市まちづくり自治基本条例の認知度については、「聞いたことがない」が最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」、「内容を知っている」となっています。

3. 市の取り組みについて

羽生市を全国にPRするため有効だと思われるものについては、「さいたま水族館」が最も多く、次いで、「世界キャラクターさみっと in 羽生」、「藍染め」となっています。

行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思うかについては、「積極的に推進するべき」、「推進するべき」を合わせた『推進するべき（計）』が半数以上に対し、「あまり推進するべきでない」、「推進する必要はない」を合わせた『推進する必要はない（計）』が約13%となっています。また、「どちらでもない」が約3割となっています。

DXが進むことに対して期待することについては、「行政手続きのオンライン化」が最も多く、次いで、「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」、「LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信」となっています。

4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について

行事への参加については、「いつも参加している」、「ときどき参加している」を合わせた『参加している（計）』が約4割に対し、「あまり参加していない」、「参加していない」を合わせた『参加していない（計）』が約6割となっています。

幸せで生きがいのある老後を送るために大切だと思うことについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が最も多く、次いで、「移動手段の確保や支援を充実させる」、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」となっています。

市の子育て支援に期待することについては、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が最も多く、次いで、「子育てしやすい住環境への支援」、「保育所・学童保育の充実」となっています。

家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思うかについては、「不要なものは買わない、断る」が最も多く、次いで、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」、「食品ロスの削減推進」となっています。

公共交通の満足度については、「満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している（計）』が約2割に対し、「やや不満足である」、「不満足である」を合わせた『不満足である（計）』が約4割となっています。

5. 医療・防災・防犯について

かかりつけ医等を決めているかについては、かかりつけ医が約6割。かかりつけ歯科医が約7割、かかりつけ薬局については、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が最も多くなっています。

毎年、健康診断等を受診しているかについては、「受診している」が約7割に対し、「受診していない」が約3割となっています。

家が建てられた時期については、「昭和57年（1982年）以降」が約7割と最も多く、「昭和56年（1981年）以前」が約2割、「わからない」が約1割となっています。

住宅用火災警報器の設置場所については、「台所に設置されている」が約44%、次いで、「設置されていない」が38%、「寝室に設置されている」が約30%となっています。

震災・水害時の避難所については、「知っている」が約7割に対し、「知らない」が約27%となっています。

ハザードマップについては、「見たことはある」が約6割と最も多く、次いで、「内容を理解している」が約3割、「知らない」が約1割となっています。

マイ・タイムラインの作成については、約6割が「知らない」と回答し、「知っているが作成していない」が約3割、「作成している」が約1%となっています。

災害時の備えについては、「避難所の確認」が最も多く、次いで、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」、「非常用食料の備蓄」となっています。

防犯対策については、「センサーライトの設置」が最も多く、次いで、「ドア、窓の二重ロック化」、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」となっています。

犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多く、次いで、「市街地などに防犯カメラを取り付ける」、「警察のパトロールを多くする」となっています。

6. 市議会について

市議会への関心度については、「ある」、「どちらかといえばある」を合わせた『関心がある(計)』が約45%に対し、「どちらかといえばない」、「ない」を合わせた『関心がない(計)』が約半数となっています。

市議会へ関心がある理由については、「生活と密接な関係があるから」が最も多く、次いで、「自分に関係があると思うから」、「税金を納めているから」となっています。

一方、市議会へ関心がない理由については、「市議会が何をしているかわからないから」が最も多く、次いで、「興味がないから」、「生活にあまり関係がないから」となっています。

7. 選挙について

政治や選挙への関心度については「非常にある」、「まあまあある」を合わせた『関心がある(計)』が約4割に対し、「あまりない」、「まったくない」を合わせた『関心がない(計)』が約17%となっています。

投票しやすい環境として有効な手段については、「インターネットを利用して投票できるようにする」が最も多く、次いで、「期日前投票所の場所を増やす」、「市内のどの投票所でも投票できるようにする」となっています。

選挙に関する情報の取得先については、「テレビ」が最も多く、次いで、「選挙ポスター、選挙ビラ」、「新聞」となっています。

8. 文化・スポーツについて

「おうち図書館」の有無については、「ある」が約4割に対し、「ない」が約6割となっています。

「おうち図書館」がない理由については、「特に理由はない・わからない」が最も多く、次いで、「本を読まないから」、「図書館を利用するから」となっています。

文化芸術に期待するものについては、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が最も多く、次いで、「多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる」、「文化的な伝統を尊重する心の育成」となっています。

市内の文化芸術に関する情報の入手先については、「広報はにゅう」が最も多く、次いで、「チラシ・ポスター」、「公民館だより」となっています。

文化芸術振興における施策として今後必要な取り組みについては、「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」が最も多く、次いで、「子どもたちの文化芸術体験の充実」、「情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信」となっています。

子どもたちが文化芸術に親しむため、充実すべきことについては、「公演や展示などの鑑賞機会」が最も多く、次いで、「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」、「伝統芸能や郷土芸能の体験機会」となっています。

スポーツ活動を行う頻度については、「行っていない/月に1回未満」が約4割と最も多く、次いで、「週に2回~4回」、「月に1回~3回程度」となっています。

スポーツ活動を行っていない理由については、「忙しくて時間がないから」が最も多く、次いで、「健康上の理由から」、「スポーツが好きではないから」となっています。

9. 人権・男女平等について

今の社会で基本的人権が尊重されていると思うかについては、「尊重されている」、「どちらかといえば尊重されている」を合わせた『尊重されている（計）』が約6割に対し、「どちらかといえば尊重されていない」、「尊重されていない」を合わせた『尊重されていない（計）』が2割となっています。

各場面における男女平等については、「男性が優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』が約半数に対し、「女性が優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』が約6%となっています。

『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思うかについては、「その通りだと思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』が約2割に対し、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』が約7割となっています。

10. 商業・農産物について

農産物を購入するとき目安にしていることについては、「新鮮さなどの品質」が最も多く、次いで、「値段の安さ」、「国内産または地元産であること」となっています。

市の農業、商業や産業の振興で重要だと思うことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多く、次いで、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」、「商店街の整備」となっています。

羽生市市民意識調査

—概要版—

令和8年3月

羽生市 秘書広報課

〒348-0052 埼玉県羽生市東6丁目15番地

TEL：048-561-1121

FAX：048-562-3500
